保 証 書(持込修理)

本書は、本書記載内容(下記規定)で、無料修理を行うことを、お約束するものです。
保証期間中に、正常なご使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

品　番	MR965i	
S/No.		
お買い上げ日	年　月　日 お買い上げ年月日の記載がない場合、無料修理規定外となります。	
保証期間	対象部分 機器本体(消耗部品は除く) お買い上げの日から[illegible]年	
お客様	お名前	様
	ご住所	〒 TEL.(　　　)
販売店	店名・住所	上欄に記入または捺印の無い場合は、必ず販売店様発行の領収書など、お買い上げの年月日、店名等を証明するものを、お貼りください。

無効

＜無料修理規定＞

1. 本書記載の保証期間内に、取扱説明書等の注意書に従った正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、機器本体及び本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
3. ご転居ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、最寄りの弊社営業所・サービス部へご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   (イ)使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障及び損傷
   (ロ)お買い上げ後の移動、落下等による故障及び損傷
   (ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障及び損傷
   (ニ)特殊な条件下等、通常以外の使用による故障及び損傷
   (ホ)故障の原因が本製品以外にある場合
   (ヘ)本書のご提示がない場合
   (ト)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
   (チ)付属品や消耗品等の消耗による交換
5. 本書は、日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
6. 本書は再発行しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

故障内容記入欄

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、最寄りの弊社営業所・サービス部にお問い合わせください。

ユピテル工業株式会社
〒108-0023　東京都港区芝浦4-12-33

PRINTED WITH SOY INK
※この印刷物は、環境にやさしい古紙100%の再生紙と大豆油インキを使用しています。

6SS1094

Super Cat 安全運転を支えるテクノロジー

ミラー型 GPS&レーダー探知機

MR965i 取扱説明書

ダウンロード対応

12V車専用

このたびは、スーパーキャットのレーダー探知機をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。本機は、スピード取締り機の存在を前もってお知らせする受信機です。

- **1.5インチ大型ELディスプレイ**
  液晶より見やすいEL表示
- **レーダースコープ**
  複数のターゲットを同時に表示。
- **リモコンでカンタン設定&楽々操作**
  お手元のリモコンで、ELを見ながら各種設定操作もカンタン。
- **GPS26識別**
- **17バンド受信機能**
- **誤警報低減機能**
  ホンモノの警報だけ、的確にお知らせする「インテリジェントキャンセル」等、快適なドライビングをサポートします。
- **最適モード選択機能**
  ふだんの生活圏内のときや遠くへドライブするときなど、最適な設定モード選択がカンタンにできます。
- **GPS測位機能**
- **S-EXTRA/スーパーエクストラ感度☆☆☆☆☆**
- **iDSP**
  統合的デジタル信号処理技術(ｉデジタル)により、超高精度識別を実現。
- **レーダーアラーム機能**
- **自動制御機能**
  リラックスチャイム、オートパワーON/OFF、ローバッテリー警告、フレックスディマー、お知らせボイス、オートクワイアット
- **ity./データmuPass**
- **muPass/サウンド**
- **ity. ダウンロード機能(ダウンロードアダプター方式)**
  携帯電話やパソコンでGPS登録データをダウンロード更新。
- **ity. MAP 地図閲覧サービス**
  約190,000件のMAPPLEポイントデータから、携帯電話に周辺の地図を表示！

ity. intelligent telematics by yupiteru

ity.(アイティ)…それはカーライフに快適でインテリジェント(intelligent)な情報を提供するテレマティクス(telematics)という新しい技術――ユピテルから

⚠注意
この説明書をよくお読みのうえ、安全運転のよきパートナーとして正しくお使いください。なお、お読みになられたあとも、いつでも見られる場所に大切に保管してください。

*テレマティクス/telematics ＝ telecommunication＋informatics

目 次

はじめに
安全上のご注意 …… 2
各部の名称と働き …… 4
主なEL表示について …… 7
ルームミラーに取り付ける …… 10
電源について …… 11
ファンクションボタンについて …… 15
レーダースコープ(複数ターゲット表示)について …… 17
電源/音量を設定する …… 20

使いかた
レーダー編
便利な機能について …… 22
レーダーアラーム機能について …… 22
iDSPについて …… 23
GPS編
GPS測位機能について …… 25
GPS26識別について …… 26
マイエリア警告の使いかた …… 31
マイキャンセルの使いかた …… 32
無線編
17バンド受信機能について …… 33
設定編
最適モード選択機能について …… 38
各種設定のしかた …… 41
設定メニューのフローチャート …… 42
「レーダー」の設定項目について …… 44
「GPS」の設定項目について …… 48
「無線」の設定項目について …… 53
「設定」の各項目について …… 57

その他
取締りのミニ知識 …… 59
取締りレーダー波を受信しにくい場合 …… 60
仕様 …… 60
故障かな？と思ったら …… 61
アフターサービスについて …… 62
保証書 …… 裏表紙

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。また、注意事項は危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告：この表示は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

⚠注意：この表示は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

絵表示について

⚠ この記号は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

⊘ この記号は、してはいけない「禁止」内容です。

❗ この記号は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠警告

水をつけたり、水をかけない。また、ぬれた手で操作しない…火災や感電、故障の原因となります。

穴やすき間にピンや針金などの金属を入れない…感電や故障の原因となります。

機器本体および付属品を改造しない…火災や感電、故障の原因となります。

運転中は絶対に操作しない…わき見運転は重大事故の原因となります。また、設定は停車中に、パーキングブレーキを確実にかけた状態で行ってください。

取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また、自動車の機能（ブレーキ、ハンドル等）の妨げにならない場所に取り付ける…誤った取り付けは、交通事故の原因となります。

シガーライターソケットやシガープラグの汚れはよくふく…接触不良を起こして火災の原因となります。

シガーライターソケットは単独で使う…タコ足配線や分岐して接続すると、異常加熱や発火の原因となります。

万一、破損した場合は、すぐに使用を中止する…そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。

警報したときに慌ててブレーキをかけたりしない…走行中に急ブレーキをかけたりすると大変危険です。

バッテリーに直接接続しない…火災や感電、故障の原因となります。

サービスマン以外の人は、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しない…感電や故障の原因となります。内部の点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。

医用電気機器の近くでは使用しない…植込み型心臓ペースメーカや、その他の医用電気機器に電波による影響を与える恐れがあります。

シガープラグは確実に差し込む…接触不良を起こして火災の原因となります。

ぬれた手でシガープラグの抜き差しをしない…火災や感電、故障の原因となります。

⚠警告

電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しない。また、電源コードが傷んだら使用しない…感電やショートによる発火の原因となります。

表示された電源電圧車以外では使用しない…火災や感電、故障の原因となります。また、ソケットの極性にご注意ください。本機はマイナスアース車専用です。

煙が出ている、変な臭いがするなど、異常な状態のまま使用しない…発火の恐れがあります。すぐにシガープラグを抜いて、販売店に修理をご依頼ください。

助手席エアバックの近くに取り付けたり、配線をしない…万一のとき動作したエアバックで表示部が飛ばされ、事故やケガの原因となります。また、シガープラグ使用時に配線が妨げとなり、エアバックが正常に動作しないことがあります。

⚠注意

本機は日本国内仕様です。海外ではご使用にならないでください。

取り付けや取り外しは確実に行う…落ちたりして、ケガの原因となります。

車から離れるときは、電源を切る…エンジンを止めても、シガーライターソケットに、常時電源が供給される車種がありますので、ご使用にならないときはシガープラグを抜いてください。

シガープラグコードを抜くときは、電源コードを引っ張らない…コードに傷がついて、感電やショートによる発火の原因となります。必ずシガープラグを持って抜いてください。

お手入れの際は、シガープラグを抜く…感電の原因となります。

ご使用にあたって

■周辺の環境によっては、GPSの測位に誤差が生じることがあります。

■走行環境や測定条件などにより、取締りレーダー波の探知距離が変わることがあります。

■一部の車種に採用されている金属コーティングの断熱ガラスのなかには、電波の透過率が低いため衛星からの電波を受信しにくく、GPS測位ができない場合や、取締りレーダー波の探知距離が短くなることがあります。

本機を使用中のスピード違反に関しては、一切の責任を負いかねます。日頃からの安全運転をお心がけください。

各部の名称と働き

(つづく)

本体

EL表示部
文字表示やアイコンで、各種警報や状態表示をします。

GPSアンテナ部
GPS衛星からの電波を受信します。

赤外線受光部
リモコンの赤外線信号を受信します。

テスト&ミュートボタン[T/MUTE]
警報音の確認やミュート機能を使うときなどに使います。(☛ 20、21、22ページ)

ファンクションボタン[FUNCTION]
複数ターゲット表示機能に関わる画面切り替えや、設定画面の切り替え等に使用します。(☛ 15、18、20、31、32ページ)

▼VOL- ▲VOL+ ●MODE ◀CANCEL ▶AREA

▶エリアボタン[AREA]
自分でメモリーしたいエリアを登録するときや各種設定をするときに使います。(☛ 16、18、31ページ)

◀キャンセルボタン[CANCEL]
不要な警報を制御したいエリアを登録するときや各種設定をするときに使います。(☛ 16、18、32ページ)

●モードボタン[MODE]
モードを選択するときや各種設定をするときに使います。(☛ 16、18、19、38、39、41ページ)

▲アップボタン[VOL+]
音量を上げるときや各種設定をするときに使います。(☛ 16、19、20、38、39、41ページ)

▼ダウンボタン[VOL−]
音量を下げるときや各種設定をするときに使います。(☛ 16、19、20、38、39、41ページ)

※ファンクション設定により、各ボタンの機能を変更できます。(☛ 15ページ)

DCジャック[DC12V](12V車専用)
付属のシガープラグコードを接続します。(☛ 11ページ)

スピーカー

テストボタン[TEST]
製造時のテスト用ボタンです。

レーダー波アンテナ(前面)
取締りレーダー波を受信します。

(底面)

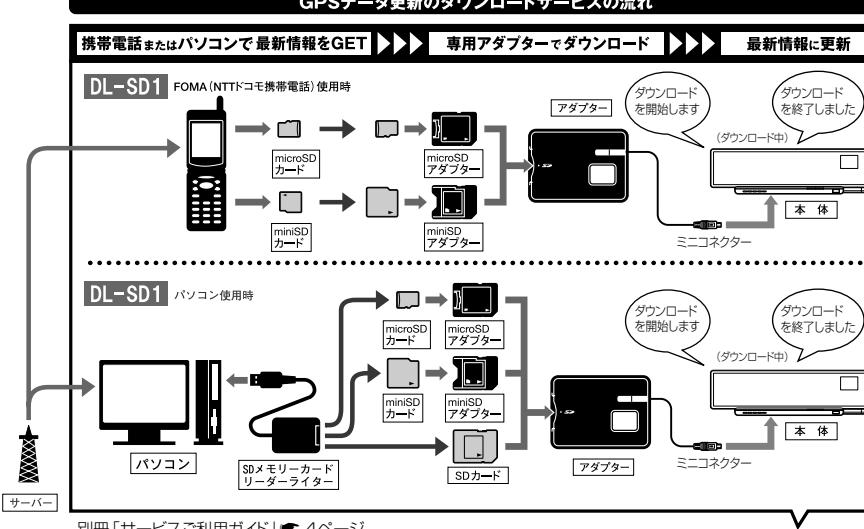
アダプタージャック[ADAPTOR]
ダウンロードアダプターを接続します。(別冊「サービスご利用ガイド」☛ 4ページ)

赤外線送受信部
携帯電話の赤外線信号を送受信します。(別冊「サービスご利用ガイド」☛ 12、24、26ページ)

GPSデータ更新のダウンロードサービスの流れ

携帯電話またはパソコンで最新情報をGET ▶▶▶ 専用アダプターでダウンロード ▶▶▶ 最新情報に更新

別冊「サービスご利用ガイド」☛ 4ページ

各部の名称と働き

リモコン

赤外線発光部を表示部の赤外線受光部に向けてリモコン操作してください。

赤外線発光部
赤外線信号を発信します。

▲アップボタン［VOL］
音量を上げるときや各種設定をするときに使います。
（☛ 16、19、20、39、41ページ）

◀キャンセルボタン［CANCEL］
不要な警報を制御したいエリアを登録するときや各種設定をするときに使います。
（☛ 16、18、32ページ）

ファンクションボタン［FUNCTION］
複数ターゲット表示機能に関わる画面切り替えや、設定画面の切り替え等に使用します。
（☛ 15、18、20、31、32ページ）

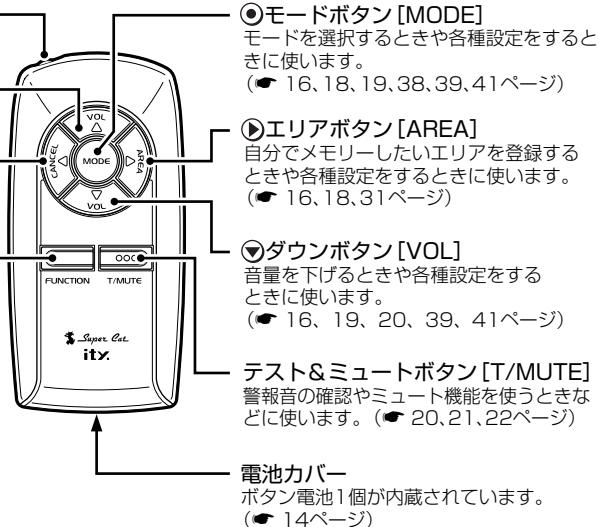
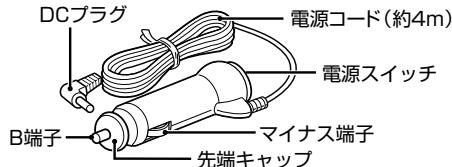
◉モードボタン［MODE］
モードを選択するときや各種設定をするときに使います。
（☛ 16、18、19、38、39、41ページ）

▶エリアボタン［AREA］
自分でメモリーしたいエリアを登録するときや各種設定をするときに使います。
（☛ 16、18、31ページ）

▼ダウンボタン［VOL］
音量を下げるときや各種設定をするときに使います。
（☛ 16、19、20、39、41ページ）

テスト＆ミュートボタン［T/MUTE］
警報音の確認やミュート機能を使うときなどに使います。（☛ 20、21、22ページ）

電池カバー
ボタン電池1個が内蔵されています。
（☛ 14ページ）

※ファンクション設定により、各ボタンの機能を変更できます。
（☛ 15ページ）

電源スイッチ付シガープラグコード

付属品

ご使用前に付属品をお確かめください。

●電源直結コード（約3m）

● リモコン用ホルダー

● リモコンホルダー取付用両面テープ（1）
● コードクリップセット（1）
● 取扱説明書・保証書（1）
● サービスご利用ガイド（1）

主なEL表示について

※アイコン表示は、GPS測位状況や各種設定状況等により異なります。 （つづく）

1.5インチのEL画面にレーダー・GPS・無線の警報や告知を表示。複数のGPSターゲットを表示する「レーダースコープ」により、斬新な表現を実現しました。

アイコン表示について

●フレックスディマーについて
GPSの時刻情報により、それぞれの地域および季節に応じて、夜間のEL表示やパイロットランプの明るさを抑え、眩しさを防ぎます。

	表示名	アイコン	表示の意味
❶	GPS 測位表示		測位していることを表示します。
	GPS 警報表示		GPS26識別警報中であることを表示します。
❷	無線警報表示		各無線警報中であることを表示します。
❸	レーダー警報表示		レーダー波を受信中であることを表示します。
❹	駐禁監視エリア表示		駐車禁止エリア内で点滅表示します。
❺	レーダー受信感度モード表示	C E SE C S E SE	AACモードのON/OFFおよびレーダー受信感度等を表示します。 ☛ 44ページ参照
❻	ドライブ／ローカルモード表示	L D L D A	設定しているモードを表示します。
❼	ファンクション表示	[F1] [F2] [F3]	現在のファンクション状態を表示します。 ☛ 15ページ参照

● EL表示の内容は、実際と異なったり、変更になる場合があります。

主なEL表示について

※アイコン表示は、GPS測位状況や各種設定状況等により異なります。

GPSも、無線も、レーダーも、「液晶」より見やすい EL 表示と『ボイス』のダブルで警報します。

- GPS 26識別
- 無線14バンド識別
- ベスト・パートナー 6識別
- レーダー波 4識別

→ **ターゲット50識別**

主な表示例は、次のとおりです。

メッセージ表示例

GPS/ループコイル警報画面

☛ 57ページ警報画面の設定で変更可

＊レーダー・GPS・無線の警報画面は「レーダースコープ」「イラストスタイル」「ワードスタイル」から選択できます。
＊初期値は「レーダースコープ」です。

レーダースコープ

イラストスタイル

ワードスタイル

待受画面

☛ 57ページ待受画面の設定で変更可

レーダースコープ

イラストスタイル1
日時、方位、車速を表示

イラストスタイル2
衛星数、高度、緯度・経度を表示

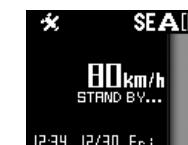
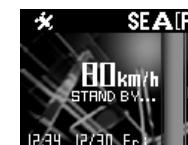
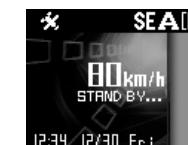
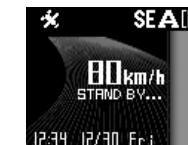
ワードスタイル1
日時、進行方向、車速を表示

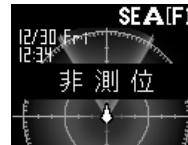
ワードスタイル2
日時、進行方向、衛星数、高度緯度・経度を表示

進行方向指示
- ▲（上向き）：北方向へ進行
- ►（右向き）：東方向へ進行
- ▼（下向き）：南方向へ進行
- ◄（左向き）：西方向へ進行
- （右斜め上向き）：北東方向へ進行
- （右斜め下向き）：南東方向へ進行
- （左斜め下向き）：南西方向へ進行
- （左斜め上向き）：北西方向へ進行

背景画面

☛ 57ページワードスタイル背景の設定で変更可

＊待受画面および警報画面で「ワードスタイル」を設定時に有効で背景のみ変更できます。

非測位時の画面

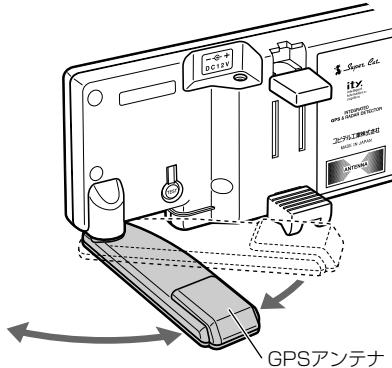
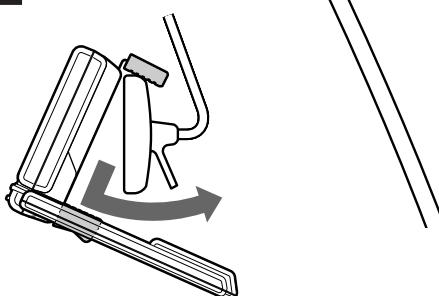
＊各画面に「非測位」表示されます。

緯度・経度について

緯度・経度を表示させ、ity./MAP地図閲覧サービスをご活用いただけます。（別冊「サービスご利用ガイド」☛ 14ページ）表示させるには次のように操作してください。

●テスト&ミュートボタンを押したまま◉モードボタンを押す。

- 本体 EL 表示部に緯度（N）・経度（E）が約1分間表示されます。
- 緯度・経度の表示は固定で、移動しても変わりません。
- GPS非測位のときは、「サーチ中」を点滅表示します。
- 戻るときは、再度、テスト&ミュートボタンを押したまま、◉モードボタンを押します。

ルームミラーに取り付ける

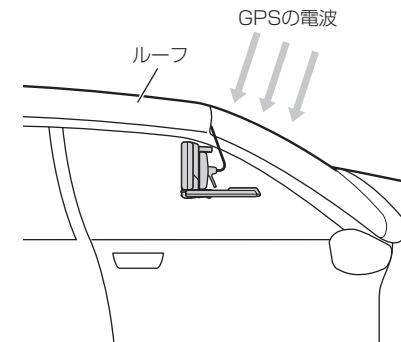
1 GPSアンテナを下図のように動かす

2 本体をルームミラーに挟み込む

• 取り付けは、ルームミラーに強い荷重が加わらないように、ルームミラーをしっかりと支えて行ってください。車体への取り付け強度が弱い一部の車種(軽自動車やフロントガラス接着型の車など)では破損の原因となります。

⚠注意

取り付けは確実に行ってください。落ちたりして、本体や車輌側の破損および、ケガの原因となります。

3 本体の取り付け角度を調節する

• ミラーの角度調整を行うときは、本品を持って行うとはずれてしまう場合がありますので、必ず純正ルームミラーを持って行ってください。

4 GPSアンテナの角度を、車輌の外からフロントガラスを通して見えるように調整する

• GPSアンテナが、車輌のルーフ下に隠れていると、GPS信号を受信できません。

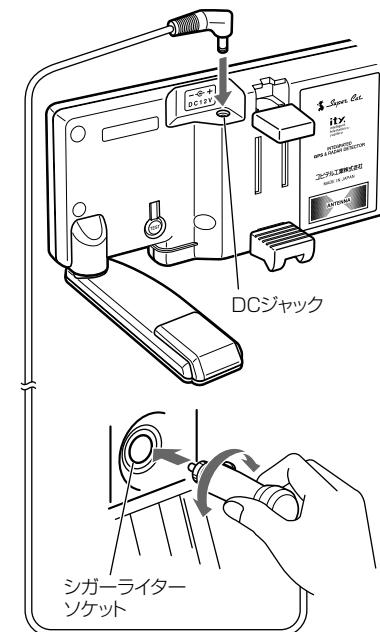
• 本品の取り付けによりサンバイザーが使用できない場合があります。
• 本機が純正ルームミラーにしっかりと装着されていることをご確認の上、走行してください。
• 本品を装着しますと、純正ルームミラーの防眩機能は使用できなくなります。
• 本品は、純正ルームミラーとは視界の範囲が異なりますのでご注意ください。
• 本品は、純正ルームミラーに直接取り付けるため、振動により、ミラーが振れてしまうことや、ルームミラー自体が傾いてしまう場合があります。

電源について

つづく

1 付属の電源スイッチ付シガープラグコードを、DCジャックと車のシガーライターソケットに差し込む

シガープラグは、2～3回左右にひねりながら差し込みます。

• シガープラグコードは、必ず付属のものをご使用ください。
• シガープラグ内部のヒューズが切れた場合は、同じ容量(1A)の新しいヒューズと交換してください。
• 一部の車種においては、シガープラグの形状が合わないことがあります。その場合は、付属の電源直結コードを使用してください。

⚠警告

ぬれた手でシガープラグを抜き差ししないでください。火災や感電、故障の原因となります。

シガープラグコードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しないでください。また、傷んだシガープラグコードを使用しないでください。感電やショートによる発火の原因となります。

シガーライターソケットやシガープラグの汚れはよくふいて確実に差し込んでください。ホコリが付いていたり、不完全な接続をすると、接触不良を起こして火災の原因となります。

シガーライターソケットは単独で使用してください。タコ足や分岐して接続すると異常過熱や発火の原因となります。

表示された電源電圧以外では使用しないでください。火災や感電、故障の原因となります。

運転や視界の妨げにならない場所、また自動車の機能(ブレーキ、ハンドルなど)の妨げにならない場所に取り付け・配線を行ってください。誤った取り付けは、交通事故の原因となります。

助手席エアバックの妨げとなる場所に配線しないでください。シガープラグコードが妨げとなり、エアバッグが正常に動作しなかったり、動作したエアバックで本体が飛ばされ、事故やケガの原因となります。

万一キャビネットを破損した場合は、すぐにシガープラグを抜いてください。そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因となります。

⚠注意

シガープラグコードを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードに傷がついて感電やショートによる発火の原因となります。

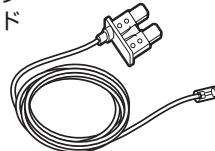
お手入れの際には、シガープラグを抜いてください。感電の原因となります。

取り付けは確実に行ってください。落ちたりして、本体や車輌側の破損および、ケガの原因となります

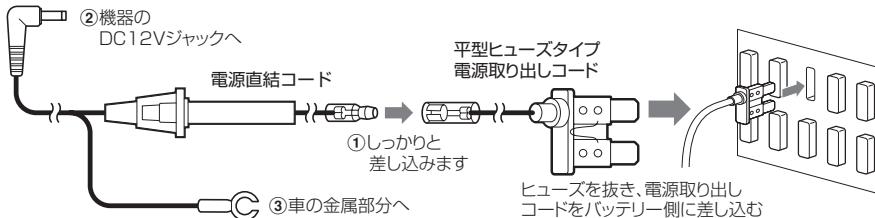
電源直結コードの使いかた

シガーライターソケットを使わず、ヒューズボックスから電源をとることができます。
平型ヒューズタイプの電源取り出しコード(市販品)をお買い求めいただき、次のように接続してください。

※ 平型ヒューズにはノーマルサイズとミニサイズがあります。あらかじめ、ヒューズボックス内のヒューズのサイズと容量をご確認のうえ、お買い求めください。

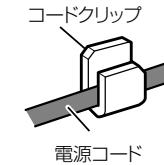
■平型ヒューズタイプ電源取り出しコード(市販品)

接続方法

- 作業中のショート事故防止のため、接続前に必ず車のバッテリーのマイナス端子をはずしてください。
- 平型ヒューズ取り付け時には、付属の取扱説明書をよくお読みになり、接続手順や注意事項などを守ってください。

必ず、エンジンキーのACC ON/OFF操作と連動してON/OFFする回路(カーラジオなど)のヒューズと差し替えてください。

ヒューズの交換

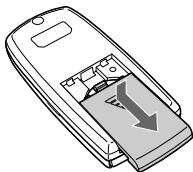
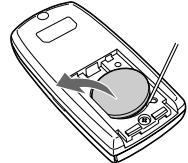
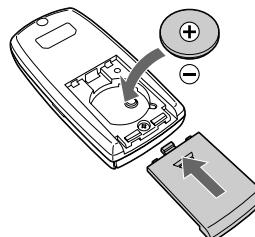
- 接続状態でエンジンをかけても、機器の電源が入らない場合は、接続コード類がはずれていないことと、ヒューズホルダー内のヒューズが切れていないことを確認してください。(合わせて、平型ヒューズのヒューズが切れていないか確認してください)
- 図のようにヒューズホルダーを押しながら左に回してはずし、元に戻すときは、押しつけながら右に回してください。

コードクリップの使いかた

付属のコードクリップセットで、シガープラグコードがきれいに配線できます。
コードクリップを両面テープで貼り付けます。

- 布などは避け、なるべく硬く、なめらかな場所を選び、接着面に触れないように貼り付けます。
- 貼る場所のチリや汚れをよく落としたあと、慎重に行ってください。

電源について

リモコンの電池交換のしかた

1 電池カバーを開ける

2 古い電池を取り出す

3 新しい電池を入れ、電池カバーを閉じる
※電池の向きに充分注意してください。

⚠警告

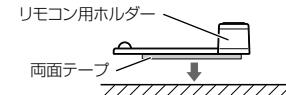
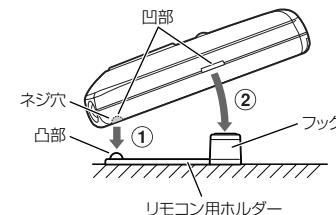
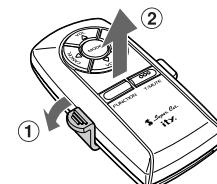
使用済みの電池は、火中に入れないでください。爆発して、火災・やけどの原因となることがあります。また、事故防止のため、電池は幼児の手の届かないところに保管してください。万一お子様が飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

リモコンの電池の交換時期について

- リモコンにはボタン電池(CR2032)が内蔵されています。リモコン操作がしにくくなったら、電池寿命です。市販の新しいものと交換してください。
- 電池は、CR2032以外は使用しないでください。
- 寿命の目安としては、1日50回程度の使用で約1年間ですが、1年以内でも消耗することがあります。

リモコンを固定する

リモコンを手に取りやすい決まった場所に両面テープで貼り付けておくこともできます。

1 リモコン用ホルダーを、付属の両面テープで手に取りやすい場所に貼り付ける

2 リモコンを固定するときは、ホルダーの凸部にリモコンのネジ穴を合わせてから、『カチッ』と音がするまで押し込む

3 リモコンを取り出すときは、リモコン用ホルダーのフックを軽く広げながら、取り出す

赤外線発光部を表示部の赤外線受光部に向けてリモコン操作してください。

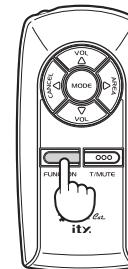
- あらかじめ、貼る場所のホコリや汚れ、脂分をよく落としたあと、慎重に行ってください。貼り直しは、テープの接着力を弱めます。

ファンクションボタンについて

つづく

ファンクションボタンは、深い階層の設定操作に簡単にアクセスできるショートカットボタンです。

ファンクション画面について

- ファンクションボタンを押している間、ファンクション1〜3のいずれかの画面を表示します。ファンクションボタンを放すと3秒後にファンクション画面の表示は消えます。
- 各ファンクション画面表示中に、再度ファンクションボタンを押すたび、ファンクション1〜3の画面が切替ります。

ファンクション1 (F1)画面　ファンクション2 (F2)画面　ファンクション3 (F3)画面

ファンクションボタンについて

ファンクション画面に表示される機能は、以下のとおりです。

ファンクション1(F1)の機能			ボタン操作
音量	UP	(☛ 20ページ)	⊕アップボタン
	DOWN	(☛ 20ページ)	⊖ダウンボタン
マイキャンセル登録・解除		(☛ 32ページ)	◀キャンセルボタン（解除は長押し）
マイエリア登録・解除		(☛ 31ページ)	▶エリアボタン（解除は長押し）
走行モードの切り替え		(☛ 38ページ)	⊙モードボタン
設定モード画面を表示させる		(☛ 41ページ)	⊙モードボタン 長押し※1
テストミュート機能		(☛ 20、22ページ)	テスト&ミュートボタン※2

ファンクション2(F2)の機能		ボタン操作
現在のターゲットから、次に遠いターゲットを表示	(☛ 19ページ)	⊕アップボタン
現在のターゲットから、次に近いターゲットの表示	(☛ 19ページ)	⊖ダウンボタン
表示スケールのズームアウト	(☛ 18ページ)	◀キャンセルボタン
表示スケールのズームイン	(☛ 18ページ)	▶エリアボタン
画面センターの位置の移動	(☛ 18ページ)	⊙モードボタン

ファンクション3(F3)の機能		ボタン操作
待受画面を切り替える	(☛ 18ページ)	◀キャンセルボタン または▶エリアボタン
ステータス表示の設定	(☛ 19ページ)	⊙モードボタン

※1 設定モード画面は、どのファンクション画面からでも、⊙モードボタンの長押しで表示させることができます。

※2 テストミュート機能は、どのファンクション画面からでも、ボタン操作できます。

- **ファンクション2(F2)の全機能、およびファンクション3(F3)のステータス表示の設定は、レーダースコープ(☛ 17ページ)画面でのみ操作可能な機能です。レーダースコープ以外の画面で操作すると『キー操作無効[キー割当]を確認して下さい』と EL 表示し操作無効となります。**
- **警報・告知中は、ファンクション3(F3)の待受画面の切り替えはできません。**

レーダースコープ(複数ターゲット表示)について (特許出願中) (つづく)

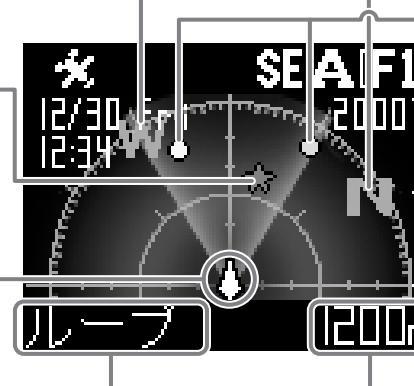
レーダースコープは、GPSデータ登録されているオービスなど複数のターゲットを待受画面および警報画面で同時に表示できます。(最大3000mの範囲)

※GPS測位(☛ 25ページ)ができない場合は、作動しません。

レーダースコープ画面について

方位
N(北)、E(東)、W(西)、S(南)で表示します。

フォーカスアイコン
警報中のターゲットや自車位置から一番近くの警報対象ターゲット、およびボタン操作による切替えで、★表示するアイコンです。

自車アイコン
車輌の進行方向を示し、表示するアイコンです。

警報対象アイコン
警報の対象となるターゲットを赤色、黄色、緑色のいずれかで、●表示するアイコンです。

スケール
ターゲットを表示できる範囲で500m〜3000mの6段階に切替え可能です。

フォーカスアイコンのターゲット情報
★表示されているターゲット名を表示します。

ターゲットまでの距離
★表示されているターゲットまでの距離を表示します。

※フォーカスアイコン★のターゲットが表示外にある場合は、ターゲット名と距離だけを表示します。

アイコン表示について

警報対象アイコン●とフォーカスアイコン★のターゲットは色で識別されます。

アイコン	色	ターゲット情報
●、★	赤色	オービス(レーダー式、Hシステム、LHシステム、ループコイル)、取締エリア、検問エリア、マイエリア
	黄色	警察署、交通監視システム、事故多発エリア、交差点監視エリア、信号無視抑止システム
	緑色	Nシステム、道の駅、サービスエリア、パーキングエリア、ハイウェイオアシス、ハイウェイラジオ受信エリア、高速道制限速度切替りポイント、駐禁最重点エリア内有料駐車場

※進行方向によって、警報の対象とならない場合は、灰色のアイコンで表示します。

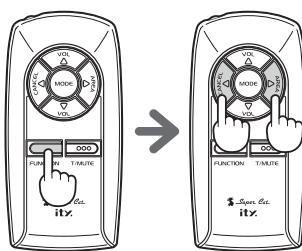
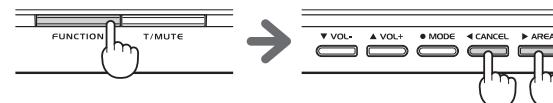
複数ターゲット
同時探知

レーダースコープ(複数ターゲット表示)について

●レーダースコープ画面にする

他の待受画面からレーダースコープ画面にする場合は、ファンクションボタンを押し、ファンクション画面(☛ 15ページ)のファンクション3(F3)に合わせた後、▶エリアボタン　または◀キャンセルボタンでレーダースコープ画面に合わせます。

※(☛ 57ページ)待受画面の設定からも変更可能です。

イラストスタイル1画面　レーダースコープ画面

または

以下の操作はレーダースコープ画面でのみ操作可能な機能です。

●レーダースコープ画面を移動する

自車位置を中心にレーダースコープ画面を上下に5段階移動できます。
ファンクション2(F2)の画面から、⊙モードボタンを押すごとに変更できます。

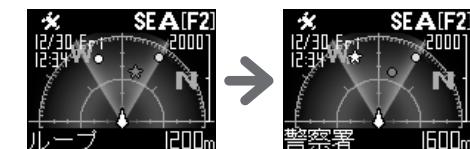
●スケール(ターゲット表示範囲)を切替える

スケールは「500m」「1000m」「1500m」「2000m」「2500m」「3000m」の6段階に切替えられます。
ファンクション2(F2)の画面から、▶エリアボタンまたは◀キャンセルボタンで変更できます。

スケール2000m　スケール1500m

●フォーカスターゲットを切替える

フォーカスターゲット(アイコン表示★で情報表示されているターゲット)から、別のターゲット情報を10秒間表示させることができます。
ファンクション2(F2)の画面から、▲アップボタンまたは▼ダウンボタンで変更できます。

※ フォーカスターゲットがない場合に、▲ ▼ボタンを押すと自車位置からスケール内の一番近いターゲットを表示し、その後▲ボタンを押していくと一番近いターゲットから一番遠いターゲットまでを表示していきます。

●ステータス表示を設定する

ステータス表示(時間・曜日表示、スケール表示)をON/OFFできます。
ファンクション3(F3)の画面から、⊙モードボタンを押すことで変更できます。

ステータス表示：ON　ステータス表示：OFF

電源/音量を設定する

設定は、必ず停車中にパーキングブレーキを確実にかけて行ってください。

1 電源を入れる

車のエンジンを始動し、シガープラグの電源スイッチを押します。

ターン・オン・ボイス(🔊 安全運転を心がけましょう)が鳴り、EL がオープニング表示します。

• マナーモードのときはターン・オン・ボイスは鳴らず、マナーモード表示を約5秒間します。

ターン・オン・ボイス『安全運転を心がけましょう』は、muPassによりお好みのサウンドに書きかえられます。(別冊「サービス利用ガイド」☛ 20ページ)

[オープニング表示]

2 音量を調節する

ファンクションボタンを押し、ファンクション画面(☛ 15ページ)のファンクション1(F1)に合わせてください。 ⊕アップ/⊖ダウンボタンで調節できます。

『ピッ』という確認音を聞きながら調節します。

確認するときは、テスト&ミュートボタンを押します。このとき EL は待受画面になります。(☛ 8ページ)

• マナーモードのときは、約2秒間マナーモード表示します。

テスト&ミュートボタンを押す前から警報機能が働く場合は、近くで発信されている取締りレーダー波と同じ電波を受信しているためです。この状態でテスト&ミュートボタンを押すと、ミュート機能が働き、警報音が止まります。(☛ 22ページ)

●マナーモードについて

マナーモードにすると、マナーモード表示を約2秒間したあと EL は消え、警告音も全くなくなります。

一時的に、電源切の状態にしたいときに使います。

• マナーモードは、⊕を押すと解除できます。他のボタンを押すとマナーモード表示となります。

最大音量からさらに⊕を押すと『ブブッ』と鳴ります。

[マナーモード表示]

音量「0」からさらに⊖を押すと「マナーモード」になります。

解除するときは⊕を押します。

テスト&ミュートボタンを押している間はテストモードとなり、警報音(電子音、サウンド1 、サウンド2)を確認することができます。

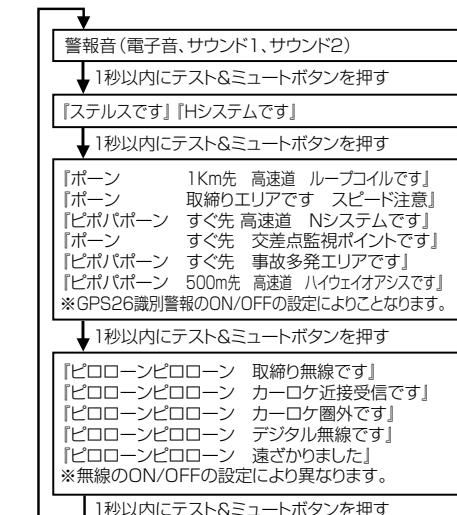
一旦テスト&ミュートボタンを放し、1 秒以内に再度押すと、次の手順で警報音や音声の確認ができます。

警報音(電子音、サウンド1、サウンド2)

↓ 1秒以内にテスト&ミュートボタンを押す

『ステルスです』『Hシステムです』

↓ 1秒以内にテスト&ミュートボタンを押す

『ポーン　1Km先　高速道　ループコイルです』
『ポーン　取締りエリアです　スピード注意』
『ピポパポーン　すぐ先 高速道　Nシステムです』
『ポーン　すぐ先　交差点監視ポイントです』
『ピポパポーン　すぐ先　事故多発エリアです』
『ピポパポーン　500m先　高速道　ハイウェイオアシスです』
※GPS26識別警報のON/OFFの設定によりことなります。

↓ 1秒以内にテスト&ミュートボタンを押す

『ピロローンピロローン　取締り無線です』
『ピロローンピロローン　カーロケ近接受信です』
『ピロローンピロローン　カーロケ圏外です』
『ピロローンピロローン　デジタル無線です』
『ピロローンピロローン　遠ざかりました』
※無線のON/OFFの設定により異なります。

↑ 1秒以内にテスト&ミュートボタンを押す

便利な機能について

オートクワイアット

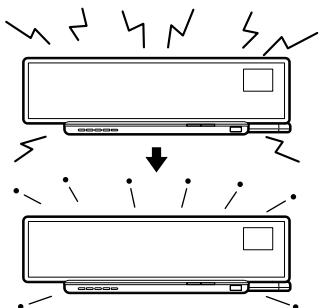
レーダー波の受信が約30秒以上続くと、自動的に音量が小さくなります。

後方受信

iDSPによる超高精度識別およびスーパーエクストラモードの超高感度受信により、後方からの取締りレーダー波もシッカリ受信します。

ミュート機能

●取締りレーダー波の発信源の確認ができたら

警報中にテスト&ミュートボタンを押すと、受信中の電波がなくなるまで、警報音を一時的に消すことができます。

ターン・オン・ボイス(起動音)

電源スイッチを入れると、起動音が鳴り電源が入ったことをお知らせします。
このとき EL はオープニング表示します。

レーダーアラーム機能について

本機は、Wアラーム方式と接近テンポアップシステムの採用により、取締りレーダー波の存在をより確実に伝えていきます。

Wアラーム方式

音(電子音/サウンド1/サウンド2)とELのダブルで警報します。

接近テンポアップシステム

各警報は、取締りレーダー波発信源への接近(電波の強弱)に合わせて変化します。

取締りレーダー波発信源との距離	遠い ――→ 近い
電子音アラーム	断続音から連続音に変化します。
EL	受信レベルが変化します。（受信レベル表示）

• 電子音以外はテンポアップしません。
• レーダー波の受信が約30秒以上続くと、警報音が小さくなります。(オートクワイアット機能)

iDSPについて (つづく)

本機はiDSP/統合的デジタル信号処理技術(integrated Digital Signal Processing Technology)※により、ステルス型取締り機の「一瞬で強い電波」や、新Hシステムの「種類の異なる電波」に対しては、ただ単に警報するだけでなく、通常波と区別して EL とボイスのダブルでお知らせします。**[レーダー波4識別]([ステルス識別]/[新Hシステム識別:特許 第3326363号・第3428531号])**

• iDSPはステルス型の取締り機に対して完全対応というわけではありません。先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。
 ※本機はフリップチップinアンテナ**[特許 第3229564号]**を採用しています。

1 新Hシステム波

2 ステルス波

3 通常レーダー波

4 Iキャンセル告知

※ レーダースコープ画面におけるターゲット表示とレーダー波の発信元とは無関係です。

ボイス識別

ステルス型取締り機について

他の取締り機と同じ電波を使用していますが、事前に探知(受信)されないようにするため、待機中は電波を発射せず、必要なときに短時間強い電波を発射して速度の測定ができる狙い撃ち方式の取締り機です。

• ステルス型取締り機は、計測する瞬間だけ電波を発射するため、受信できなかったり、警報が間に合わない場合があります。また、取締りには電波を使用しない光電管式などもありますので、先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。
• 通常の電波を受信した場合でも、周囲の状況などにより、ステルス波の識別警報することがあります。
• 電子音/サウンド1/サウンド2のどのモードを選んでいるときでも、ステルス型取締り機の電波を受信するとボイスでステルス波の識別警報します。

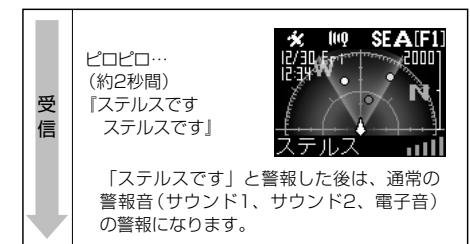
<ステルス波を受信したとき>

● EL とボイスのダブルでお知らせします。

受信

ピロピロ…
(約2秒間)
『ステルスです
ステルスです』

「ステルスです」と警報した後は、通常の警報音(サウンド1、サウンド2、電子音)の警報になります。

iDSPについて

新Hシステムについて

電波を用いる自動速度取締り機(オービス)の一種ですが、他のオービスとは種類の異なる電波(周波数は同一)を使用しているため、従来機では探知(受信)しにくくなります。
ただし、このシステムでは証拠の記録をする前に、電光掲示板で「速度オーバー」や「速度超過」などの警告がありますので、これらの警告を見かけたら注意してください。

※ 電光掲示板による警告がない場合もありますので、ご注意ください。

<新Hシステム波を受信したとき>

●はじめは選んでいる通常の警報音(サウンド1、サウンド2、電子音)が鳴りますが、識別すると EL とボイスのダブルでお知らせします。

使いかた/レーダー編

GPS測位機能について

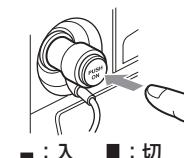
GPS(Global Positioning System)とは、衛星軌道上の24個の人工衛星から発信される電波により、緯度･経度を測定するシステムです。
カーナビでお馴染みのこのシステムを利用して、取締りレーダー波を発射しないループコイル式のオービス、そしてLHシステムも、EL とボイスのダブルで警報します。
また、固定設置式のオービスだけでなく、交通監視システムやNシステム、そして、過去の取締りや検問などがよく行われたゾーンなど、26種類のターゲットを識別して EL とボイスのダブルで警報します。
[GPS26識別]

●GPSデータの更新について

本機にはあらかじめオービスデータ・コンテンツデータが登録されています。
最新データへの更新をご要望される場合、ity.クラブ(別冊「サービスご利用ガイド」☛ 4ページ)または、ity./データmuPass(別冊「サービスご利用ガイド」☛ 7ページ)をご覧ください。会員になると携帯電話やパソコンを利用してGPSデータを更新できるサービスが受けられます。
また、お預かり更新サービス(送料別･税込¥5,250)をご要望される場合、最寄りの弊社営業所・サービス部にご相談ください。

1 GPS測位機能を使う

シガープラグの電源スイッチを「ON」にすると、GPS測位機能も「ON」になります。(GPS測位機能のみ「OFF」にすることはできません)

▂：入　█：切

サーチが終わり、初めての測位のときは、『ポーン 測位しました』とお知らせします。
サーチ後、約4分経過しても測位できないときは、『ポーン GPSをサーチ中です』とお知らせします。

TVによるGPS測位障害について

車載TVなどをUHF56チャンネルに設定していると、GPS測位できない場合があります。
これは、UHF56チャンネルの受信周波数が障害電波となり、GPS受信に悪影響を与えるためです。ご注意ください。

通常、サーチが終わるまで、約10秒から約3分かかりますが、はじめてのサーチや、ビルの谷間など、視界の悪い場所では、GPSの電波を受信しにくく、サーチに20分以上時間がかかる場合があります。障害物や遮へい物のない視界の良い場所へ移動し、車を停車して行ってください。

• サーチが終わった後でも、電波を受信できない状態が30秒以上続くと、『ポーン GPSを受信できません』とお知らせします。その後、再び測位すると『ポーン GPSを受信しました』とお知らせします。

GPS警報音の『ポーン』と測位ボイスの『測位しました』は、muPassによりお好みのサウンドに書きかえられます。(別冊「サービスご利用ガイド」☛ 20ページ)

• 一度、GPSが測位すると、内蔵バッテリーにより、バックアップされ、次回に電源を投入した際は、GPSの測位が早くなります。
ただし、この内蔵バッテリーには寿命があります。GPSの測位に時間がかかるようになったら、お買い上げの販売店、または最寄りの弊社営業所・サービス部にご相談ください。

使いかた/GPS編

GPS26識別について

つづく

内蔵メモリーに登録されているGPSデータのポイントに近づくと、オービスなどのターゲットを26種類に識別し、EL による文字表示と同時にボイスでお知らせします。

下の表は、警報画面の設定(☛ 57ページ)を「イラストスタイル」と「ワードスタイル」に選択時の警報イメージです。

ターゲット	イラストスタイルの警報画面	ワードスタイルの警報画面	警報語句
1 ループコイル	SEA[F1] ループコイル 12:34 500m	SEA[F1] LOOP COIL 500m 12:34 60km/h	『ポーン　500m先 ループコイルです』
2 LHシステム	SEA[F1] LHシステム 12:34 500m	SEA[F1] LH System 500m 12:34 60km/h	『ポーン　500m先 LHシステムです』
3 新Hシステム	SEA[F1] Hシステム 12:34 500m	SEA[F1] H System 500m 12:34 60km/h	『ポーン　500m先 Hシステムです』
4 レーダー式オービス	SEA[F1] レーダー 12:34 500m	SEA[F1] RADAR Orbis 500m 12:34 60km/h	『ポーン　500m先 レーダーです』
5 トンネル出口	SEA[F1] ループコイル 高速 12:34 トンネル出口	SEA[F1] LOOP COIL Tunnel Exit 12:34 HW 80km/h	『ポーン　トンネルの出口付近 高速道ループコイルです』
6 高速道オービス制限速度告知	SEA[F1] 高速 100 12:34 1km	SEA[F1] H System 1000m 12:34 HW 80km/h	『ポーン　1km先 高速道Hシステムです』『制限速度は100キロです』

ターゲット	イラストスタイルの警報画面	ワードスタイルの警報画面	警報語句
7 オービスカメラ位置	SEA[F1] LHシステム 12:34 500m	SEA[F1] LH System 500m 12:34 60km/h	『ポーン　500m先 LHシステムです』『カメラは正面です』
8 マイエリア	SEA[F1] マイエリア 12:34 500m	SEA[F1] MY AREA 500m 12:34 60km/h	『ポーン　500m先 マイエリアです』
9 Nシステム	SEA[F1] Nシステム 12:34 300m	SEA[F1] N System 300m 12:34 60km/h	『ピポパポーン　すぐ先 Nシステムです』
10 交通監視システム	SEA[F1] 交通監視 12:34 300m	SEA[F1] NH System 300m 12:34 60km/h	『ピポパポーン　すぐ先 交通監視システムです』
11 取締エリア	SEA[F1] 取締エリア 12:34 500m	SEA[F1] TRAP Area 500m 12:34 60km/h	『ポーン　取締エリアです スピード注意』
12 検問エリア	SEA[F1] 検問エリア 12:34 500m	SEA[F1] CHECK Area 500m 12:34 60km/h	『ポーン　検問エリアです』
13 取締・検問圏外	SEA[F1] 取締エリア 12:34 圏外	SEA[F1] CHECK Area Out of Zone 12:34 60km/h	『ポーン　取締エリア外です』『ポーン　検問エリア外です』

使いかた／GPS編

つづく

ターゲット	イラストスタイルの警報画面	ワードスタイルの警報画面	警報語句
14 駐禁監視エリア（最重点地域）	SEA[F1] 駐禁監視 12:34 最重点	SEA[F1] No Parking Patrol Area 12:34 60km/h	『ポーン この付近 駐禁最重点エリアです』『ity. MAPで駐車場表示ができます』
15 駐禁監視エリア（重点地域）	SEA[F1] 駐禁監視 12:34 重 点	SEA[F1] No Parking Patrol Area 12:34 60km/h	『ポーン この付近 駐禁重点エリアです』『ity. MAPで駐車場表示ができます』
16 高速道制限速度切替りポイント	SEA[F1] 100 高速 12:34 80km/h	SEA[F1] Speed Change 100km/h 12:34 HW 80km/h	『ピポパポーン 高速道 制限速度は 100キロです』
17 交差点監視ポイント	SEA[F1] 交差点監視 12:34 300m	SEA[F1] Junc Monitor 300m 12:34 60km/h	『ポーン すぐ先 交差点監視ポイントです』
18 信号無視抑止システム	SEA[F1] 信号無視 12:34 300m	SEA[F1] Signal Moni. 300m 12:34 60km/h	『ポーン すぐ先 信号無視抑止システムです』
19 事故多発エリア	SEA[F1] 事故多発 12:34 300m	SEA[F1] Accident Pt. 300m 12:34 60km/h	『ピポパポーン すぐ先 事故多発エリアです』
20 警察署	SEA[F1] 警察署 12:34 300m	SEA[F1] Police St. 300m 12:34 60km/h	『ピポパポーン 300m先 警察署です』

ターゲット	イラストスタイルの警報画面	ワードスタイルの警報画面	警報語句
21 道の駅	SEA[F1] 道の駅 12:34 500m	SEA[F1] Road Oasis 500m 12:34 60km/h	『ピポパポーン 500m先 道の駅です』
22 サービスエリア	SEA[F1] SA 高速 12:34 500m	SEA[F1] Service Area 500m 12:34 HW 80km/h	『ピポパポーン 500m先 高速道 サービスエリアです』
23 パーキングエリア	SEA[F1] PA 高速 12:34 500m	SEA[F1] Parking Area 500m 12:34 HW 80km/h	『ピポパポーン 500m先 高速道 パーキングエリアです』
24 ハイウェイオアシス	SEA[F1] HWオアシス 高速 12:34 500m	SEA[F1] HW Oasis 500m 12:34 HW 80km/h	『ピポパポーン 500m先 高速道 ハイウェイオアシスです』
25 ハイウェイラジオ受信エリア	SEA[F1] 1620KHz HWラジオ 高速 12:34 100m	SEA[F1] HW Radio 100m 12:34 HW 80km/h	『ピポパポーン 高速道 ハイウェイラジオ受信エリアです』
26 駐車場	SEA[F1] 駐車場 12:34 100m	SEA[F1] Parking 100m 12:34 60km/h	『ピポパポーン すぐ先 有料駐車場です』

※ EL 表示内容は、実際と異なったり、変更になる場合があります。

GPS警報音の「ポーン」とGPS情報音の「ピポパポーン」は、muPassによりお好みのサウンドに書きかえられます。（別冊「サービスご利用ガイド」☛ 20ページ）

GPS26識別について

●ターゲット・カウントダウン表示 EL

GPS警報の開始からターゲットの直前までの距離をカウントダウン表示します。

- レーダースコープ画面の場合は、警報に関係なくフォーカスアイコンのターゲットまでの距離を表示します。
- GPS測位の状況などにより、距離に誤差が生じる場合がありますので、目安としてください。

●トンネル出口警報 EL

トンネルの中ではGPSの電波を受信できないため、出口付近に設置されているオービスは警報できませんでしたが、トンネルの入口手前約500mと直前の2カ所（※）で、出口付近のオービスや道の駅などを EL とボイスのダブルで警報します。

※ GPS測位または地理的な状況によっては、1回のみの警報になります。

●オービスカメラ位置告知

約500m手前のオービス警報に続いて、オービスのカメラ位置をボイスで告知します。

『ポーン 500m先に・・・』『カメラは正面です』

- カメラ位置は「右側」「左側」「正面」のいずれかで告知します。

●左右方向識別ボイス

GPS警報は、ターゲットが進行方向に対して、右手または左手方向に約25°以上のとき、その方向を警報します。

- ターゲットの反対方向に対しては警報しません。
- 「駐禁監視エリア」「高速道制限速度切替りポイント」「ハイウェイラジオ受信エリア」は左右識別しません。

●オービス5段階警報

オービスの手前2km（高速道のみ）／1km／500m／通過直前／通過時の最大5段階で警報します。

2km、1kmの警報ポイントの警報ができなかったときは『この先』とボイスでお知らせし、500mの警報ポイントで警報ができなかったときは、距離に応じて『300m／200m／100m／すぐ先』のいずれかでお知らせします。

- 約2km手前の警報（高速のみ）は、オービスからの角度が右手または左手方向に約40度以内で、その路線の制限速度を超えて走行している場合にお知らせします。

●高速道識別告知

ターゲットが高速道に設置されている場合、ボイスでお知らせします。

●高速道オービス制限速度告知 EL

オービスが設置されている高速道路の制限速度を約1Km手前のオービス警報に続いて、EL とボイスのダブルで告知します。

『ポーン 1Km先に高速道…』『制限速度は80キロです』『速度超過です（制限速度を超えて走行時のみ）』

- 制限速度は『40キロ／50キロ／60キロ／70キロ／80キロ／90キロ／100キロ』のいずれかで告知し、制限速度を超えて走行時のみ『速度超過です』と続けて告知します。

※ 普通自動車に対する制限速度をお知らせします。また、事故や天候、時間帯などによって変更する制限速度には対応しておりませんので、あらかじめご了承願います。状況に応じた規制速度で走行してください。

※ 走行速度は、GPSの測位状況により実際の速度と異なる場合がありますので、あらかじめご了承願います。

マイエリア警告の使いかた

移動オービスがよく出没する地点や、新たに設置されたオービスポイントなどを登録することができます。

- 登録数は30カ所まで可能で、30カ所を超えて登録しようとしたときは、通過履歴の最も古いエリアを削除し新しいエリアを登録します。

●マイエリア登録をする

ファンクションボタンを押し、ファンクション画面（☛15ページ）のファンクション1（F1）に合わせます。

登録したい地点で ▶ エリアボタンを押します。

『ポーン GPSをサーチ中です』とお知らせした後に、※『ポーン マイエリアをセットしました』とお知らせします。

（この表示をしない場合があります。）

マイエリア登録したエリアに近づくと…

手前約1km／500m／通過中の3段階で警告します。

●すでにマイエリア登録されていたエリアのとき…

『ポーン GPSをサーチ中です』とお知らせした後に、※『ポーン マイエリアにセットされています』とお知らせします。

●登録したマイエリアを解除するとき…

ファンクションボタンを押し、ファンクション画面（☛15ページ）のファンクション1（F1）に合わせます。

マイエリア登録されているエリアで、▶ エリアボタンを長押し（約1秒）すると、『ポーン GPSをサーチ中です』とお知らせした後に、※『ポーン マイエリアを解除しました』とお知らせします。

- 全てのマイエリアを解除（消去）したい場合は、☛58ページの「データ消去」を参照ください。

●GPSを受信できず、マイエリア登録できなかったとき…

『ポーン GPSをサーチ中です』とお知らせした後に、『ポーン GPSを受信できません』とお知らせします。

※ GPS測位の状況によっては、最長20秒かかる場合があります。また、『ポーン GPSをサーチ中です』とお知らせしない場合があります。

マイキャンセルの使いかた

自動ドアなど、取締り機が設置されていないにもかかわらずレーダー警報がよく鳴る地点を登録することができ、2回目以降通過時にレーダー警報をキャンセルします。

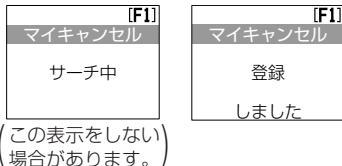
- 登録数は、「インテリジェントキャンセル(☛ 46ページ)」「マイキャンセル」の合計で100カ所まで可能で、100件を超えて登録しようとしたしたときは、通過履歴の古いものを削除し、新しいものを登録します。

●マイキャンセルエリア登録をする

ファンクションボタンを押し、ファンクション画面(☛ 15ページ)のファンクション1(F1)に合わせます。

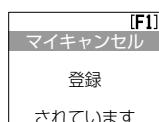
登録したい地点で ◀キャンセルボタンを押します。

『ポーン GPSをサーチ中です』とお知らせした後に、※『ポーン マイキャンセルエリアをセットしました』とお知らせします。

(この表示をしない場合があります。)

登録したマイキャンセルエリアに進入すると…

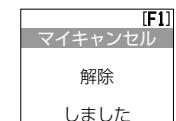
登録したキャンセルエリアのポイントから半径約200mのエリアに進入し、レーダー波を受信するとレーダー警報音をキャンセルします。

●すでにマイキャンセルエリア登録されていたとき…

『ポーン GPSをサーチ中です』とお知らせした後に、※『ポーン キャンセルエリアにセットされています』とお知らせします。

●登録したマイキャンセルエリアを解除するとき…

ファンクションボタンを押し、ファンクション画面(☛ 15ページ)のファンクション1(F1)に合わせます。

マイキャンセルエリア登録されているエリアで、◀キャンセルボタンを長押し(約1秒)すると、『ポーン GPSをサーチ中です』とお知らせした後に、※『ポーン キャンセルエリアを解除しました』とお知らせします。

- 全てのマイキャンセルエリアを解除(消去)したい場合は、☛ 58ページの「データ消去」を参照ください。

●GPSを受信できず、マイキャンセルエリア登録できなかったとき…

『ポーン GPSをサーチ中です』とお知らせした後に、『ポーン GPSを受信できません』とお知らせします。

●インテリジェントキャンセルがOFFに設定(☛ 46ページ)されているとき…

- マイキャンセルエリア登録と解除ができません。
- 登録・解除のボタン操作を行うと『ポーン Iキャンセル設定OFFです』とお知らせします。

※ GPS測位の状況によっては、最長20秒かかる場合があります。また、『ポーン GPSをサーチ中です』とお知らせしない場合があります。

17 BAND 17バンド受信機能について

つづく

取締りレーダー波のX・Kツインバンドと GPSの3バンドの他に、無線14バンド受信をプラスし、業界最多の17バンド受信ができます。

1. 無線14バンド受信機能について

安心して、安全に運転していただくために、無線14バンド受信機能を搭載しました。
これらの無線を受信すると、EL とボイスのダブルでお知らせします。**[無線14バンド識別]**
下の表は、警報画面の設定(☛ 57ページ)を「イラストスタイル」と「ワードスタイル」に選択時の警報イメージです。

<各種無線を受信すると…>

受信バンド	イラストスタイルの警報画面	ワードスタイルの警報画面	警報語句
①取締無線			『ピロローン ピロローン 取締り無線です』
②カーロケ無線			『ピロローン ピロローン カーロケ遠方受信です』 『ピロローン ピロローン カーロケ近接受信です』 『ピロローン ピロローン カーロケ圏外です』
③デジタル無線			『ピロローン ピロローン デジタル無線です』
④取締特小無線			『ピロローン ピロローン 特小無線です』
⑤ヘリテレ無線			『ピロローン ピロローン ヘリテレ無線です』

つづく

受信バンド	イラストスタイルの警報画面	ワードスタイルの警報画面	警報語句
⑥署活系無線	SEA [F1] 12:34 署活系	SEA [F1] Police Com. [CAUTION] 12:34 60km/h	『ピロローン ピロローン 署活系無線です』
⑦レッカー無線	SEA [F1] 12:34 レッカー	SEA [F1] Wrecker [CAUTION] 12:34 60km/h	『ピロローン ピロローン レッカー無線です』
⑧消防無線	SEA [F1] 12:34 消防無線	SEA [F1] Fire Radio [CAUTION] 12:34 60km/h	『ピロローン ピロローン 消防無線です』
⑨消防ヘリテレ無線	SEA [F1] 12:34 消防ヘリ	SEA [F1] Fire Heli [CAUTION] 12:34 60km/h	『ピロローン ピロローン 消防ヘリテレ無線です』
⑩新救急無線	SEA [F1] 12:34 救急無線	SEA [F1] Ambulance [CAUTION] 12:34 60km/h	『ピロローン ピロローン 救急無線です』
⑪JH無線	SEA [F1] 12:34 ＪＨ無線	SEA [F1] JH Patrol [CAUTION] 12:34 60km/h	『ピロローン ピロローン JH無線です』
⑫警備無線	SEA [F1] 12:34 警備無線	SEA [F1] Guard Radio [CAUTION] 12:34 60km/h	『ピロローン ピロローン 警備無線です』

受信バンド	イラストスタイルの警報画面	ワードスタイルの警報画面	警報語句
⑬警察電話	SEA [F1] 12:34 警察電話	SEA [F1] Police Tel. [CAUTION] 12:34 60km/h	『ピロローン ピロローン 警察電話です』
⑭警察活動無線	SEA [F1] 12:34 警察活動	SEA [F1] Police Act. [CAUTION] 12:34 60km/h	『ピロローン ピロローン 警察活動無線です』

※EL表示内容は、実際と異なったり、変更になる場合があります。

無線警報音の『ピロローン　ピロローン』は、muPassによりお好みのサウンドに書きかえられます。（別冊「サービスご利用ガイド」☛ 20ページ）

カーオーディオやカーナビ、その他、カーエアコン、ワイパー、電動ミラーなどのモーターノイズにより、ボイスでお知らせしたり、誤警報する場合があります。あらかじめご了承願います。

使いかた／無線編

2. ベスト・パートナー 6識別[特許出願中]

カーロケ無線、取締無線、デジタル無線などの無線の受信状態からシミュレーションし、快適ドライブのベスト・パートナーとして、安全走行のためのタイムリーなアドバイスを EL とボイスのダブルでお知らせします。**[特許出願中]**
また、カーロケ無線(407,7MHz帯の電波)を受信したとき、その発信元の遠近を自動識別し、更に発信元が圏外になったときと思われる場合も EL とボイスのダブルでお知らせします。**[圏外通知] [特許第3780262 号]**

※カーロケ無線やベスト・パートナーは、カーロケ無線が受信可能な一部地域のみはたらきます。

●「取締無線」「カーロケ無線」「デジタル無線」の設定(☛ 54ページ)をすべて「ON」にする
※いずれかの無線がOFFの状態では、一部のベスト・パートナー機能が働きません。

種々の無線を受信すると・・・

識別項目	注意内容	レーダースコープの警報画面	警報語句
①並走追尾注意	緊急車輌が近くにいる可能性が高いとき		『ピローーン ピローーン スピード注意』(2回くり返し)
②すれ違い注意	近くにいたと思われる緊急車輌などが、遠ざかった可能性が高いとき		『ピローーン ピローーン 遠ざかりました』(2回くり返し)
③取締注意	比較的近くで取締などが行われている可能性が高いとき		『ピローーン ピローーン 取締り注意』(2回くり返し)
④検問注意	比較的近くで検問などが行われている可能性が高いとき		『ピローーン ピローーン 検問注意』(2回くり返し)
⑤カーロケ遠近識別	緊急車輌などが遠方のときや近接している可能性が高いとき		『ピローーン ピローーン カーロケ遠方受信です』『ピローーン ピローーン カーロケ近接受信です』
⑥カーロケ圏内・圏外識別	カーロケ受信の発信元が、まだ近くにいる場合や遠ざかった可能性が高いとき		『ピローーン ピローーン カーロケ圏外です』

- ③と④のボイスによるお知らせから、しばらくの間、レーダー受信感度モードがスーパーエクストラモードになります。(但し、「AAC/ASS」モードのとき ☛ 45ページ)
- カーロケ圏内画面での警報はありません。

※ 警報によるアドバイスがあっても、実際とは異なる場合がありますので、目安としてお考えください。

※ レーダースコープ警報画面におけるターゲット表示と無線受信の発信元とは無関係です。

最適モード選択機能について

（つづく）

本機は、レーダー、GPS、無線の各種機能を個別に設定できます。
また、ふだんの生活圏内で使うときの「ローカルモード」と遠くへドライブするときの「ドライブモード」と2種類のモードを、それぞれお好みに応じてON/OFFなどの設定ができます。
そして、「ローカルモード」、「ドライブモード」と、この2モードを自動で切り換える「ドライブ・ローカルモード」、更に各種機能が全てONに設定されている「ALL ONモード」の4モードの中から、最適なモードをカンタンな操作で選択設定することができます。
ふだんの通勤では「ローカルモード」でお使いになり、遠くまでドライブするときは「ドライブモード」に切り換え、遠出から帰ったら「ローカルモード」へ戻すという使いかたがカンタンにできます。
お買い上げ時には、「ドライブモード」に設定されています。
また、各モードのお買い上げ時の設定値（初期値）は（☛ 40ページ）の表の通りです。

❶ ALL ONモード：A
各種機能がすべてONに設定されています。

❷ ローカルモード：L
通勤時など、ふだんの生活圏内でのご使用を想定し、必要最低限の機能をONに設定していますが、各種機能はお好みに応じて設定を変更することができます。そして、その変更した内容をメモリーします。

❸ ドライブモード：D
ふだんの生活圏（ローカルエリア）外へ遠出する場合などを想定して設定していますが、各種機能はお好みに応じて設定を変更することができます。そして、その変更した内容をメモリーします。

❹ ドライブ・ローカルモード：Lまたは D
「ローカルモード」と「ドライブモード」を自動で切り換えるモードです。
設定したローカルエリア内では「Lローカルモード」で動作し、ローカルエリア外になると、自動的に「Dドライブモード」になり、また、ローカルエリア内に戻ると「Lローカルモード」と自動的に切り換わります。

※ローカルエリアの設定（☛ 39ページ）をしていない場合は、「ドライブ・ローカルモード」を選択しても、常にドライブモードとなりローカルモードに切り替わりません。

ローカルエリアとは・・・

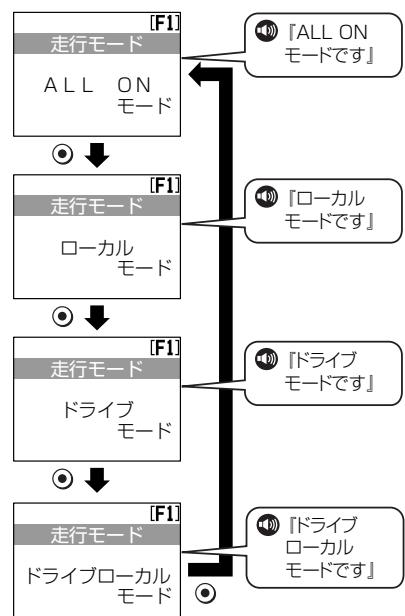
ふだんの生活圏をローカルエリアとし、設定した登録位置を中心に、半径10ｋm/20ｋm/30ｋmの中から選択設定できます。

モード選択のしかた

1 ファンクションボタンを押す

ファンクション画面（☛ 15ページ）のファンクション1（F1）に合わせてください。

2 モードボタンを押す

◉モードボタンを押すたびにモードが変わり、ELとボイスのダブルでお知らせします。

<「ローカルエリア」の設定のしかた>

❶ ◉モードボタンを長押し（約1秒）で設定モードにする

❷ 「ローカル設定」を選択し、決定する

❸ 「エリア設定」を選択し、決定する

❹ 「登録位置」を選択し、決定する

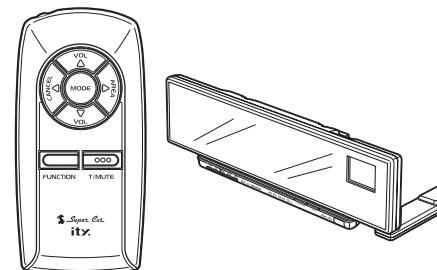
❺ 「現在位置登録」を選択し、決定する
- 「サーチ中」→「登録OK」→「登録位置/＊N…/＊E…」（現在位置の緯度・経度）が表示され、登録が完了します。
- GPS測位できない場合は、『ビービビ』と鳴り、「登録NG」と表示されます。

❻ ◉モードボタンを長押し（約1秒）で操作モードに戻る
- エリア半径（初期値：半径10km）を変更したい場合は、❹の項目で「エリア半径」を選択・決定し、「半径10ｋm」「半径20ｋm」「半径30ｋm」の中から選択し、決定してください。変更すると「●」が新しい項目に移ります。

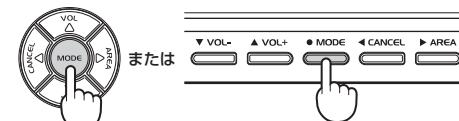
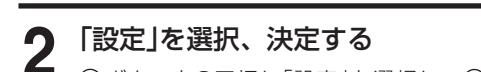
各モードの初期値一覧

		●ALL ONモード（設定変更不可）	●ローカルモード（設定変更可）	●ドライブモード（設定変更可）
レーダー	警報音	（ドライブモードの値と同じ）	サウンド1	サウンド1
	受信感度モード	（ドライブモードの値と同じ）	AAC/ASS	AAC/ASS
	Iキャンセル	ON	ON	ON
	Iキャンセルサウンド	ON	OFF	OFF
	反対キャンセル	ON	OFF	OFF
GPS	測位アナウンス	ON	ON	ON
	道路選択	オール	オール	オール
	オービス	ON	ON	ON
	直前速度	ON	ON	ON
	通過告知	ON	ON	ON
	Nシステム	ON	OFF	ON
	交通監視システム	ON	OFF	ON
	ゾーン	ON	OFF	ON
	駐禁監視エリア	ON	ON	ON
	制限速度	ON	OFF	OFF
	交差点監視	ON	OFF	OFF
	信号無視抑止	ON	OFF	OFF
	事故多発エリア	ON	OFF	OFF
	警察署	ON	OFF	OFF
	道の駅	ON	OFF	OFF
	サービスエリア	ON	OFF	OFF
	パーキングエリア	ON	OFF	OFF
	ハイウェイオアシス	ON	OFF	OFF
	ハイウェイラジオ	ON	OFF	OFF
	駐車場	ON	OFF	OFF
無線	無線警報	ボイス	ボイス	ボイス
	受信感度	Hi	Lo	Lo
	取締無線	ON	ON	ON
	カーロケ無線	ON	ON	ON
	デジタル無線	ON	OFF	ON
	ヘリテレ無線	ON	OFF	OFF
	特小無線	ON	OFF	OFF
	警察電話	ON	OFF	OFF
	警察活動無線	ON	OFF	OFF
	署活系無線	ON	OFF	OFF
	消防無線	ON	OFF	OFF
	消防ヘリテレ無線	ON	OFF	OFF
	レッカー無線	ON	OFF	OFF
	救急無線	ON	OFF	OFF
	JH無線	ON	OFF	OFF
	警備無線	ON	OFF	OFF
エリア設定	登録位置	—	未登録	—
	エリア半径	—	10Km	—

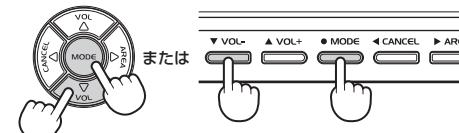
各種設定のしかた

各種設定は、EL画面を見ながら、リモコンまたは本体のボタン操作で行います。

例>> 待受画面を「イラストスタイル1」に設定変更するには・・・

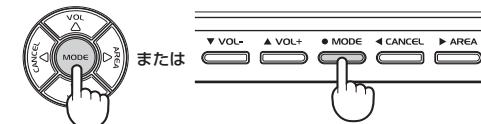
1 「設定モード」にする

◉モードボタンを長押し(約1秒)します。

●選択項目が反転表示されます。

2 「設定」を選択、決定する

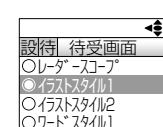
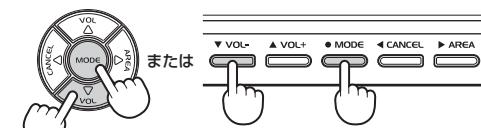
▽ボタンを2回押し「設定」を選択し、◉モードボタンを押します。

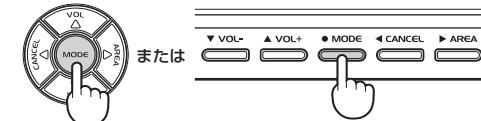
1 ローカル設定
2 ドライブ設定
3 設定
4 muPass

3 「待受画面」の項目を決定する

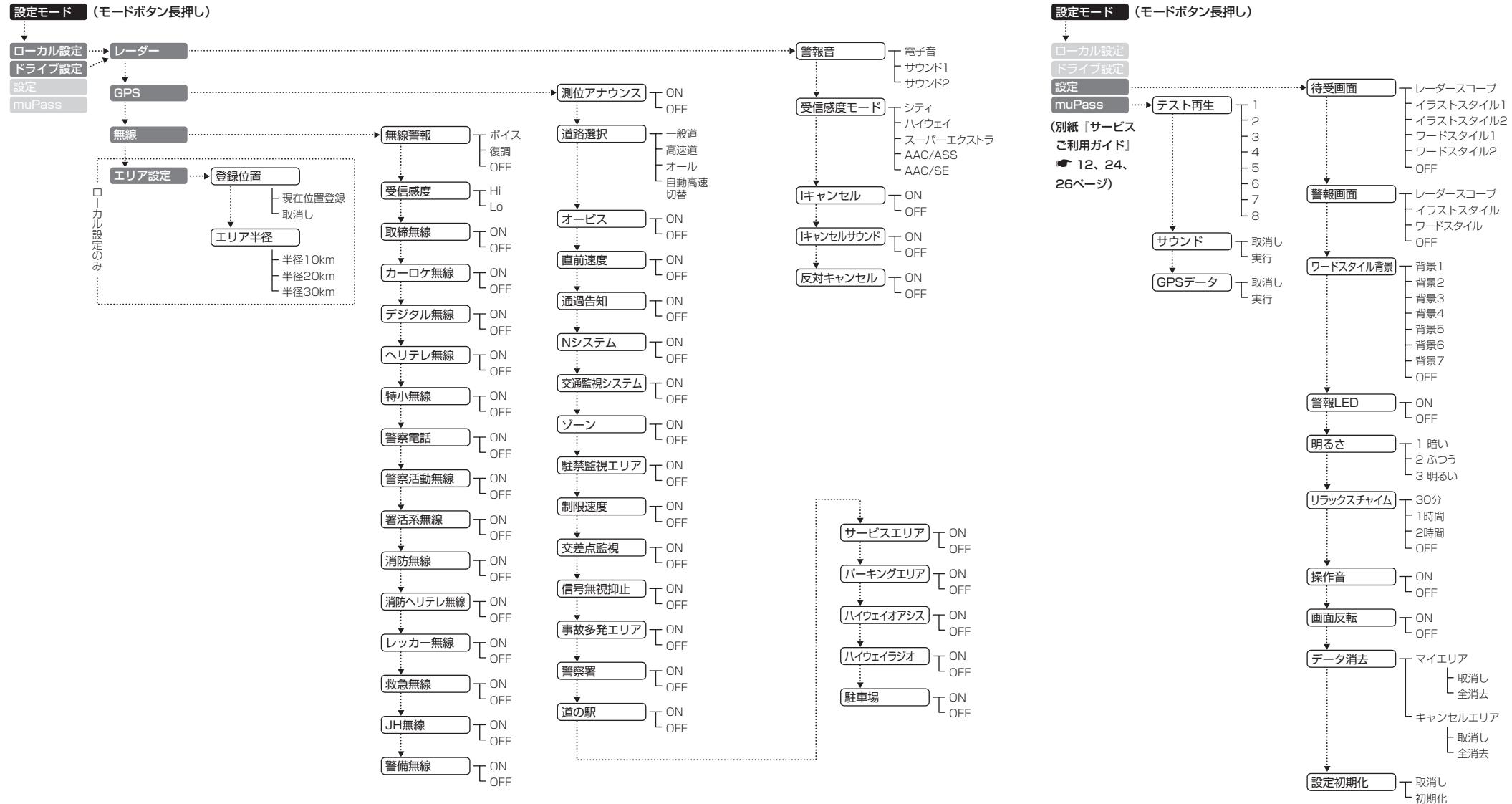
◉モードボタンを押します。

設 レーダースコープ
1 待受画面
2 警報画面
3 文字背景
4 警報LED

4 「イラストスタイル1」を選択し、決定する

▽ボタンを押し「イラストスタイル1」を選択し、◉モードボタンを押します。

●変更すると「●」が新しい項目に移ります。

5 「設定モード」に戻る

◉モードボタンを長押し(約1秒)します。

設定メニューのフローチャート

設定メニューのフローチャートにそって各項目の設定変更の操作ができます。

＊詳しい操作方法は「各種設定のしかた」(☛ 41ページ)をご覧ください。

設定モード

◉ モードボタンを長押し(約1秒)する。

1 ローカル設定
2 ドライブ設定

「ローカル設定」または「ドライブ設定」を選択する。

- ローカルモードでご使用の場合はローカル設定、ALL ONモードやドライブモードでご使用の場合はドライブ設定を選択してください。

1 レーダー

「レーダー」を選択する。

1 警報音
- 電子音
- サウンド1
- サウンド2

〈警報音〉

選択項目	モード	警報のしかた
電子音	電子音	アラーム『ピッピッピッ…』という電子音で警報します。
サウンド1	メロディアラーム	♪『カノン』のメロディアラームで警報します。
サウンド2	ボイスアラーム	『ピンポーン ピンポーン』のあとに、『スピード注意』とボイスで警報します。

サウンド1(メロディアラーム♪『カノン』)とサウンド2(ボイスアラーム『ピンポーン ピンポーン スピード注意』は、muPassによりお好みのサウンドに書きかえられます。(別冊「サービスご利用ガイド」☛ 20ページ)

2 受信感度モード
- シティ
- ハイウェイ
- スーパーエクストラ
- AAC/ASS
- AAC/SE

〈受信感度モード〉

選択項目	アイコン表示	受信感度モード	
シティ	C	シティモード	固定
ハイウェイ	E	ハイウェイモード/エクストラ感度	固定
スーパーエクストラ	SE	スーパーエクストラモード	固定
AAC/ASS	⊖(時速30km未満)	AAC/不要警報カット	自動選択
	C S E SE (車速により変化)	+ASS/最適感度選択モード	自動選択
AAC/SE	⊖(時速30km未満)	AAC/不要警報カット	固定
	SE (時速30km以上)	+スーパーエクストラモード	固定

受信感度モードについて

受信感度が高いほど、遠くの電波を受信できますが、取締りレーダー波と同じほかの電波も受信してしまいます。
走行環境や条件に合わせて、受信感度をお選びください。
また、受信感度が高いほど、新Hシステムなどの受信には有効となります。

●受信感度の切り替え(マニュアル)

	受信感度	走行環境や条件
高い	スーパーエクストラモード	高速道路
↑	ハイウェイモード(エクストラ感度)	郊外や高速道路
低い	シティモード	市街地

「AAC/ASS」モードについて

GPSの速度検出機能により、AAC/不要警報カットやASS/最適感度選択の機能が働きます。

AAC/不要警報カット

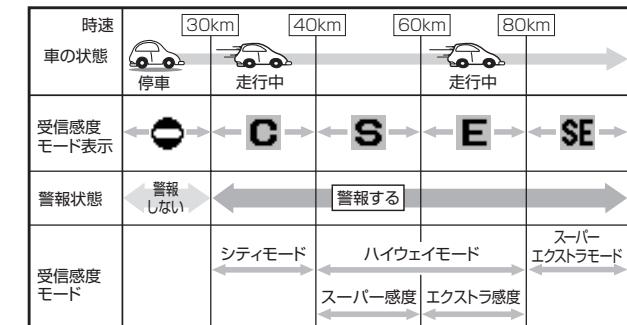
●走行速度が時速30km未満の場合は…
取締りレーダー波を受信しても、警報をカットしますので、停車中や低速走行中に、自動ドア等の電波を受信しても、誤警報することはありません。
- GPS測位されない状態では、AACシステムは働きません。

ASS/最適感度選択

●走行速度が時速30km以上の場合は…
走行速度に合わせて、最適な受信感度を自動的に選択します。

走行速度	受信感度	
30km〜	シティモード	
40km〜	ハイウェイモード	スーパー感度
60km〜	ハイウェイモード	エクストラ感度
80km〜	スーパーエクストラモード	

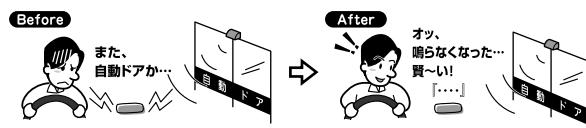
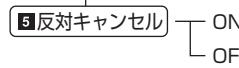
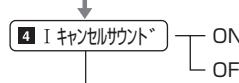
「AAC/ASS」モードにすると低速走行/停車中の不要な警報を抑え、さらにASS機能が働いて走行速度に応じて受信感度が自動的に変化します。

時速		30km	40km	60km	80km
車の状態	停車	走行中		走行中	
受信感度モード表示	⊖	C	S	E	SE
警報状態	警報しない	警報する	警報する	警報する	警報する
受信感度モード		シティモード	ハイウェイモード スーパー感度	ハイウェイモード エクストラ感度	スーパーエクストラモード

GPS測位されていない状態では、電源ON後の時間経過で受信感度が変化(C20秒→S60秒→E120秒→SE)します。

〈インテリジェントキャンセル〉[特許　第3902553号]

自動ドアなどで誤警報する場所を通過した際、GPSの位置情報を自動で登録し、2回目以降通過時にレーダー波を受信した場合、レーダー警報をキャンセルします。
登録数はインテリジェントキャンセル、マイキャンセルを合わせ100ヵ所まで登録され、それを超えると通過履歴の最も古いものを削除し、新しいものを登録します。

インテリジェントキャンセルのしくみ

① 取締りレーダー波と同じ電波を受信すると警報。**[1回目]**
② 取締りレーダー波かどうかを識別。
③ 誤警報と思われる場合、「誤警報エリア」として自動登録。
④ 同じ地点で電波を受信しても警報をキャンセル。**[2回目以降]**

- GPS測位していない時や誤警報エリアの状況によっては、誤警報がキャンセルされない場合があります。
- キャンセルされないエリアでは、マイキャンセルをあわせてご利用ください。
- インテリジェントキャンセル中(EL で「Iキャンセル」表示中)に、◀キャンセルボタンを押すと、インテリジェントキャンセルエリアからマイキャンセルエリアに変化(登録)します。
- 「Iキャンセル」を「OFF」に設定すると、インテリジェントキャンセル機能を停止させることができます。
- 自動登録したエリアは「Iキャンセル」や電源を「OFF」にしても記憶されています。
- 登録されたエリアをすべて消去したい場合は、(☛ 58ページ)の「データ消去」をご覧ください。
- ALL ONモードでご使用の場合は、インテリジェントキャンセルをOFFに設定できません。

〈インテリジェントキャンセルサウンド〉

インテリジェントキャンセル中、マイキャンセル中に、『Iキャンセル中です…Iキャンセル中です…』と音声を発する機能です。

- ALL ONモードでご使用の場合は、インテリジェントキャンセルサウンドをOFFに設定できません。

インテリジェントキャンセルサウンドの『Iキャンセル中です…Iキャンセル中です…』は、muPassによりお好みのサウンドに書きかえられます(別冊「サービスご利用ガイド」☛ 20ページ)

〈反対車線オービス・キャンセル機能〉

本機が搭載するGPSデータの中で、レーダー式オービス・Hシステム式オービスポイントの反対車線における、レーダー受信警報をキャンセルする機能です。

- ALL ONモードでご使用の場合は、反対車線オービス・キャンセル機能をOFFに設定できません。
- レーダー式オービス・Hシステム式オービスが両車線に設置されている場合は、両車線ともレーダー受信警報をキャンセルします。

「GPS」の設定項目について

つづく

「ローカルモード」「ドライブモード」におけるGPS機能の各項目を設定できます。
＊詳しい操作方法は「各種設定のしかた」(☛ 41ページ)をご覧ください。

◉ モードボタンを長押し(約1秒)する。

「ローカル設定」または「ドライブ設定」を選択する。

- ローカルモードでご使用の場合はローカル設定、ドライブモードでご使用の場合はドライブ設定を選択してください。

「GPS」を選択する。

〈測位アナウンス〉

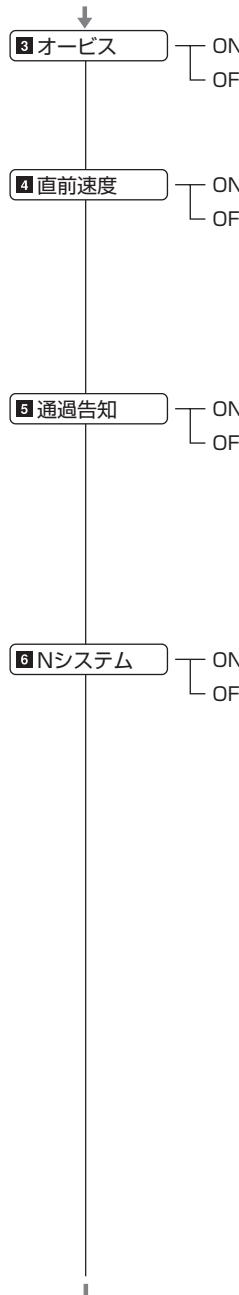
GPSの電波の受信状態が良くない場合、『ポーンGPSを受信できません』『ポーン GPSを受信しました』をくり返すことがあります。
このようなときは、次のような操作により、測位アナウンスをOFFにすることができます。

- 測位アナウンス「OFF」の場合でも、初めての測位のときは、測位アナウンスを行います。
- ALL ONモードでご使用の場合は、常に測位アナウンス「ON」となります。

〈道路選択〉

GPS警報する道路を「一般道」「高速道」「オール」「自動高速切替」から選択することが可能です。

- GPS26識別警報のハイウェイオアシスは、「一般道」に設定された場合もGPS告知されます。
- ALL ONモードでご使用の場合は、「オール」固定で設定変更できません。

一般道	一般道のターゲットのみ警報します。
高速道	高速道のターゲットのみ警報します。
オール	一般道および高速道の全てのターゲットを警報します。
自動高速切替	高速道と識別できたときは、高速道のターゲットのみ警報します。 高速道と識別できなかったときは、一般道・高速道両方のターゲットを警報します。(GPS測位などの状況により正しく識別できない場合があります)

〈オービス〉

ループコイル/LHシステム/新Hシステム/レーダー式のオービス5段階警報（☛ 30ページ）のON/OFFができます。

〈直前速度〉

「オービス直前速度告知」のON/OFFができます。
オービス直前の車の速度をボイスで告知します。…『ポーン　速度は100キロ以下です』

- 速度は『120キロ以上』『120キロ以下』『100キロ以下』『80キロ以下』『60キロ以下』のいずれかで告知します。
- 高速道の場合、制限速度を超えて走行時のみ直前速度告知後、『速度超過です』と続けてお知らせします。

〈通過告知〉 EL

「オービス通過告知」のON/OFFができます。
オービスの撮影ポイント(※)やマイエリアの通過を EL とボイスのダブルで告知します。…『ポーン通過します』

※ 実際のオービスの直下ではなく、その手前の撮影想定ポイントの通過をお知らせするようにしていますので、通過前に告知される場合があります。

〈Nシステム〉 EL

「Nシステム告知」のON/OFFができます。
Nシステムは約300m手前から通過直前に、『ピポパポーン（右／左方向）すぐ先（高速道）Nシステムです』とボイスと EL のダブルで告知します。

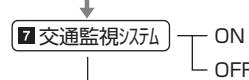
- 新設のNシステムなどで、未登録の場合は、「Nシステム告知」はされません。
- 「Nシステム告知」された場合でも、実際は稼動していないNシステムもあります。

Nシステムとは？

「自動車ナンバー読み取り装置」の略称で、その名のとおり走行中の自動車のナンバーを道路上に設置した赤外線カメラにより自動的に読み取り、そのデータを各都道府県の警察本部などに専用線を通して送信する装置で、自動車を利用した犯罪の捜査や盗難車輌の検挙、発見などを効率的に行うことを目的に開発、導入されたものです。

●旧型

●現行型

●最新型

〈交通監視システム〉 EL

「交通監視システム告知」のON/OFFができます。
交通監視システムは約300m手前から通過直前に、『ピポパポーン（右／左方向）すぐ先 交差点監視システムです』とボイスと EL のダブルで告知します。

- 新設の交通監視システムで、未登録の場合は、[交通監視システム告知]はされません。
- 現在、交通監視システムは一般道にのみ設置されています。

交通監視システムとは？

交通監視システムとは「画像処理式交通流計測システム」などと言われているシステムで、道路上に設置したCCDカメラで撮影した画像を処理し、交通量、速度、車種などを計測するものです。
本システムは東京都港湾局の管轄で、計測した車速により『速度落とせ』や『速度オーバー』等を掲示板で警告しますが、スピード取締りの実積はありません。

〈ゾーン〉

「GPSゾーン警報」のON/OFFができます。
GPSゾーン警報では、過去の取締りや検問などがよく行われたゾーンが登録されていて、そのゾーンの中心から約1km手前の警報の他に、ゾーンの中に入った時、そしてゾーン圏外になった時の3段階とも EL とボイスのダブルで警報します。

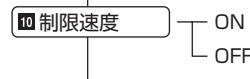
※ 取締りゾーンや検問ゾーンは、過去のデータに基づき登録されていますが、常に行われている訳ではありません。目安としてお考えください。

取締りゾーンの場合	
1km手前…	『ポーン（右/左方向）1km先（高速道）取締りエリアです』
ゾーンの中に入った時…	『ポーン 取締りエリアです スピード注意 取締りエリアです スピード注意』
ゾーン圏外になった時…	『ポーン 取締りエリア外です』

検問ゾーンの場合	
1km手前…	『ポーン（右/左方向）に1km先（高速道）検問エリアです』
ゾーンの中に入った時…	『ポーン 検問エリアです 検問エリアです』
ゾーン圏外になった時…	『ポーン 検問エリア外です』

〈駐禁監視エリア〉 EL

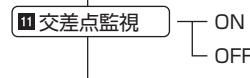
「駐車禁止監視エリア告知」のON/OFFができます。
本機に登録されている違法駐車取締りの活動ガイドラインの最重点地域・重点地域内に進入すると、『ポーン この付近 駐禁最重点（重点）エリアです』『ity. MAPで駐車場表示ができます』とボイスと EL のダブルで告知します。

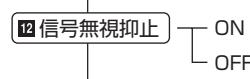
- 駐禁監視エリア警告があった場合、ity. MAP地図閲覧サービス（別冊「サービスご利用ガイド」☛ 14ページ）を利用して、最寄の駐車場を探すことができます。

〈制限速度〉 EL

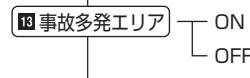
「高速道制限速度切替りポイント告知」のON/OFFができます。
高速道路における制限速度を高速道への進入ポイントやパーキングエリアなどの出口ポイント、高速道切替りポイントで、ボイスと EL のダブルで告知します。
『ピポパポーン 高速道制限速度は80キロです』『速度超過です（制限速度を超えて走行時のみ）』

- 制限速度は『40キロ／50キロ／60キロ／70キロ／80キロ／90キロ／100キロ』のいずれかで告知し、制限速度を超えて走行時のみ『速度超過です』と続けて告知します。

※ 普通自動車に対する制限速度をお知らせします。事故や天候、時間帯などによって変更する制限速度には対応しておりませんので、あらかじめご了承願います。状況に応じた規制速度で走行してください。

※ 走行速度は、GPSの測位状況により実際の速度とは異なる場合がありますので、あらかじめご了承願います。

〈交差点監視〉 EL

「交差点監視ポイント警報」のON/OFFができます。
過去に交差点で検問が行われたポイントが登録されていて、その手前約300mになると、『ピポパポーン（右／左方向）すぐ先 交差点監視ポイントです』とボイスと EL のダブルで警報します。

〈信号無視抑止〉 EL

「信号無視抑止システム告知」のON/OFFができます。
信号無視抑止システムは約300m手前から通過直前に、『ピポパポーン（右／左方向）すぐ先 信号無視抑止システムです』とボイスと EL のダブルで告知します。

〈事故多発エリア〉 EL

「事故多発エリア告知」のON/OFFができます。
過去に事故が多発したエリアが登録されていて、その手前約300mになると、『ピポパポーン（右/左方向）すぐ先 事故多発エリアです』とボイスと EL のダブルで告知します。

⑭警察署 ― ON / OFF

〈警察署〉 EL 🔊

全国の警察署が登録されていて、約500m手前から通過直前に、『ピポパポーン（右／左方向）500m先 警察署です』とボイスと EL で告知します。

- 約500m以内のときは、距離に応じて『300m／200m／100m／すぐ先に』のいずれかで告知します。

⑮道の駅 ― ON / OFF

〈道の駅〉 EL 🔊

「道の駅告知」のON/OFFができます。
全国の道の駅が登録されていて、その手前約1km（500m）になると、『ピポパポーン（右/左方向）1km（500m）先　道の駅です』とボイスと EL のダブルで告知します。

⑯サービスエリア ― ON / OFF

〈サービスエリア〉 EL 🔊

「サービスエリア告知」のON/OFFができます。
全国の高速道サービスエリアが登録されていて、その手前約1km（500m）になると『ピポパポーン（右／左方向）1km（500m）先高速道サービスエリアです』とボイスと EL のダブルで告知します。

⑰パーキングエリア ― ON / OFF

〈パーキングエリア〉 EL 🔊

「パーキングエリア告知」のON/OFFができます。
全国の高速道パーキングエリアが登録されていて、その手前約1km（500m）になると、『ピポパポーン（右／左方向）1km（500m）先高速道パーキングエリアです』とボイスと EL のダブルで告知します。

⑱ハイウェイオアシス ― ON / OFF

〈ハイウェイオアシス〉 EL 🔊

「ハイウェイオアシス告知」のON/OFFができます。
全国の高速道ハイウェイオアシスが登録されていて、その手前約1km（500m）になると、『ピポパポーン（右／左方向）1km（500m）先高速道ハイウェイオアシスです』とボイスと EL のダブルで告知します。

⑲ハイウェイラジオ ― ON / OFF

〈ハイウェイラジオ〉 EL 🔊

「ハイウェイラジオ受信エリア告知」のON/OFFができます。
全国のハイウェイラジオ受信エリアが登録されていて、その手前100mになると、『ピポパポーン 高速道ハイウェイラジオ受信エリアです』とボイスと EL のダブルで告知します。

⑳駐車場 ― ON / OFF

〈駐車場〉 EL 🔊

「有料駐車場告知」のON/OFFができます。
違法駐車取締り活動ガイドラインの最重点地域内にある有料駐車場ポイントが登録されていて、その手前約100mになると『ピポパポーン すぐ先 有料駐車場です』とボイスと EL のダブルで告知します。

「無線」の設定項目について

つづく

「ローカルモード」「ドライブモード」における無線機能の各項目を設定できます。
＊詳しい操作方法は「各種設定のしかた」（☛ 41ページ）をご覧ください。

設定モード

◉ モードボタンを長押し（約1秒）する。

1 ローカル設定
2 ドライブ設定

「ローカル設定」または「ドライブ設定」を選択する。

- ローカルモードでご使用の場合はローカル設定、ドライブモードでご使用の場合はドライブ設定を選択してください。

3 設定

「無線」を選択する。

1 無線警報 ― ボイス / 復調 / OFF

〈無線警報〉

各種無線の警報を「ボイス」「復調」「OFF」の中から選択することが可能です。

- 「OFF」に設定すると、全ての無線警報を行いませんのでご注意ください。
- ALL ONモードでご使用の場合は、「ボイス」固定で設定変更できません。

「ボイス」設定のとき

- 各無線を受信すると、ボイスが1フレーズ鳴ります。
- 30秒以内に同じ無線を受信した場合は、ボイスは鳴らずEL表示のみとなります。
- ボイスが鳴っているときに、取締りレーダー波を受信した場合、レーダー警報が優先されます。

「復調」設定のとき

- 各無線を受信すると、受信した音声を聞くことができ、受信終了後に無線ジャンルをボイスでお知らせ。
- 30秒以内に同じ無線ジャンルを受信した場合は、ボイスによるお知らせを行わず、受信した音声のみ聞こえます。
- 各無線がデジタル方式や、デジタル信号音の場合は、受信しても内容はわかりません。
- 各無線交信は、数秒間で終わる事が多いため、交信内容を完全に聞き取ることが出来ない場合もあります。
- 各無線を音声受信している場合に、取締りレーダー波を受信すると、両方の音が重なって聞こえます。

2 受信感度 ― Hi / Lo

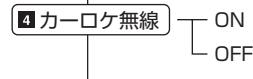
〈受信感度〉

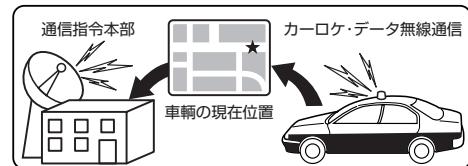
無線受信感度を「Hi」「Lo」の2段階で切替えることが可能です。

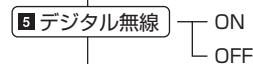
- ALL ONモードでご使用の場合は、「Hi」固定で設定変更できません。

〈取締無線〉

スピード違反の取締りや、シートベルト着用義務違反の取締り現場では、350.1MHzの電波を用いた無線で連絡が行われることがあります。
350.1MHz取締無線受信機能は、このような取締りに威力を発揮します。

- 取締り現場での連絡方法には350.1MHzの電波を用いた無線の他に、有線方式などもあり、受信自体ができない場合もあります。

〈カーロケ無線〉

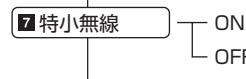
カーロケーターシステムとは、「無線自動車動態表示システム」のことで、通信指令本部が移動局(パトカー等)の現在位置をリアルタイムで地図画面上に表示し、把握するシステムです。
カーロケーターシステムを搭載した移動局は､GPSによる緯度･経度情報をデジタル化し、407.7MHz帯の周波数でデータ伝送していますので、その電波受信により、移動局が近くにいる可能性が高いことを察知できます。
このように、事前に察知することにより、緊急車輌の通行の妨げにならないようにするなど、安全走行に役立ちます。

- カーロケーターシステムは、導入されていない地域や新型のカーロケーターシステムに変更された地域があるため、一部の地域しかカーロケ無線を受信できません。
  また、現在は受信可能な地域であっても、今後、システムの変更により、受信できなくなることがあります。
- 受信のタイミングによっては、実際の移動局の接近と受信のお知らせがズレる場合があります。

5 デジタル無線 ON / OFF

〈デジタル無線〉

デジタル無線とは、各都道府県警察本部と移動端末間で交信するためのもので、移動端末から各都道府県警察本部へ送信する際に、159～160MHz帯の周波数が使われていますので、その電波受信により、移動局が近くにいる可能性が高いことを察知できます。
カーロケ帯受信機能と同じように、事前に察知することにより、緊急車輌の通行の妨げにならないようにするなど、安全走行に役立ちます。

〈ヘリテレ無線〉

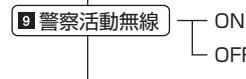
「ヘリコプター画像伝送システム連絡用無線」の略称で、ヘリコプターを使って事件や事故処理、または取締りを行うときなどに地上との連絡用として使われる無線がヘリテレ無線です。

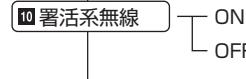
- 一部地域や一部ヘリコプターで、ヘリテレ無線が装備されていない場合や使用されていない場合は受信できないことがあります。

〈取締特小無線〉

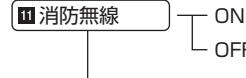
スピード違反の取締りや、シートベルト着用義務違反の取締り現場では、350.1MHzの電波を用いたアナログ方式の無線で連絡が行われることが一般的ですが、特定小電力無線が用いられる場合があります。

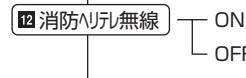
- 取締り現場の連絡用として使われていない場合もありますので、ご了承ください。

〈警察電話〉

移動警察電話(移動警電)ともいい、警察専用の自動車携帯電話システムの事です。

〈警察活動無線〉

主に機動隊の連絡用無線で、行事などの警備用として、限られた範囲で使用されている無線です。

〈署活系無線〉

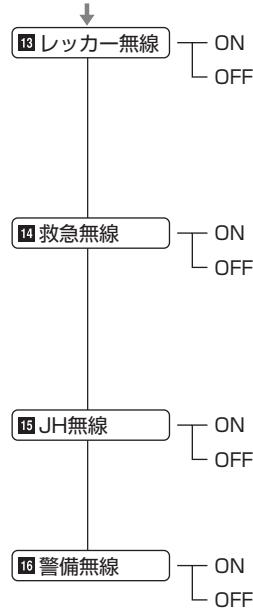
パトロール中の警察官が警察本部や他の警察官との連絡用として使われる無線が署活系無線です。

〈消防無線〉

消防車が消火活動時や、活動後に消防署に帰るまでに連絡用として使われる無線が消防無線です。
あらかじめ受信察知することにより、消防車の通行の妨げにならないようにするためのものです。

〈消防ヘリテレ無線〉

ヘリコプターを使った火事の事故処理、または火事現場との連絡用として使われる無線が消防ヘリテレ無線です。

- 一部地域や一部ヘリコプターで、消防ヘリテレ無線が装備されていない場合や使用されていない場合は受信できないことがあります。

「無線」の設定項目について

13 レッカー無線 — ON / OFF

〈レッカー無線〉

主に関東／東海／阪神の一部地域で、レッカー業者が駐車違反や事故処理のときに、連絡用として簡易業務用無線を使用しています。このため他の簡易業務用無線を受信しても、レッカー無線警報をすることがあります。あらかじめご了承ください。

14 救急無線 — ON / OFF

〈新救急無線〉

救急車と消防本部の連絡用として使われる無線のうち、首都圏の特定の地域で使われているのが新救急無線です。
あらかじめ受信察知することにより、救急車の通行の妨げにならないようにするためのものです。

15 JH無線 — ON / OFF

〈JH無線（日本道路公団無線）〉

JH（日本道路公団）の業務連絡用無線で、主に渋滞や工事・事故情報等でパトロール車輌と本部との連絡に使用されている無線です。

16 警備無線 — ON / OFF

〈警備無線〉

主に警備会社が使用する無線です。

「設定」の各項目について

（つづく）

＊詳しい操作方法は「各種設定のしかた」（☛ 41ページ）をご覧ください。

設定モード — ◉ モードボタンを長押し（約1秒）する。

3 設定 — 「設定」を選択する。

〈待受画面〉

待受時の EL 表示画面を「レーダースコープ」「イラストスタイル1（日時、方位、車速）」「イラストスタイル2（衛星数、高度、緯度・経度）」「ワードスタイル1（日時、進行方向、車速）」「ワードスタイル2（日時、進行方向、衛星数、高度、緯度・経度）」「OFF」の中から選択することができます。

- 日付および時刻は、GPSからの電波を受信して、自動的に設定されます。（測位状況により時間に誤差が出ることがあります。）
- 「ワードスタイル1・2」は主に文字・数字による画面です。
- 「OFF」に設定すると、アイコン以外 EL 表示されません。
- 初期値は「レーダースコープ」に設定されています。

＊ 車速、高度、進行方向は、実際と大きく異なることがありますので、目安程度にお考えください。

2 警報画面 — レーダースコープ / イラストスタイル / ワードスタイル / OFF

〈警報画面〉

レーダーや無線の受信警報、GPSによる警報・警告時の EL 表示を「レーダースコープ」「イラストスタイル」「ワードスタイル」「OFF」の中から選択することができます。

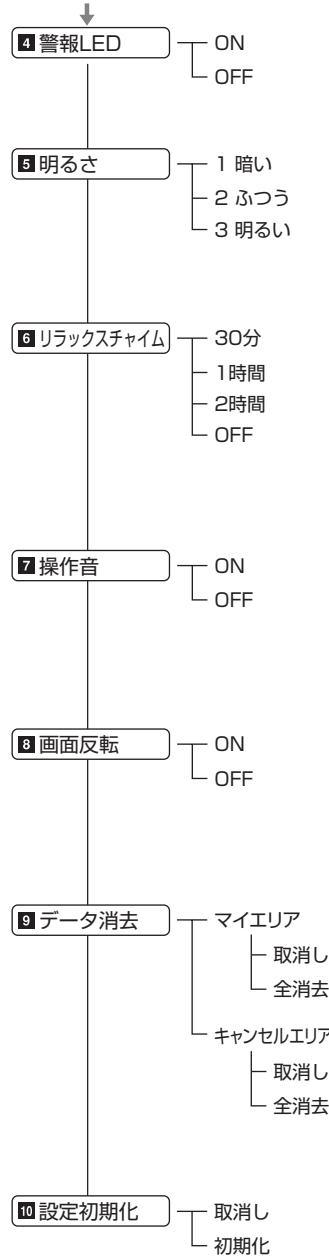
- 「イラストスタイル」に設定するとイラストと文字を交互に表示します。
- 「OFF」に設定すると、警報・警告時の EL 表示はアイコン以外表示されません。
- 初期値は「レーダースコープ」に設定されています。

〈ワードスタイル背景〉

待受画面と警報画面の背景画面を「背景 1〜7」「OFF」の中から選択することができます。

- 待受画面では「ワードスタイル1・2」を選択した場合のみ有効です。
- 警報画面では「ワードスタイル」を選択した場合のみに有効です。
- 「OFF」にすると背景画面は表示されません。

「設定」の各項目について

項目	選択肢
4 警報LED	ON / OFF
5 明るさ	1 暗い / 2 ふつう / 3 明るい
6 リラックスチャイム	30分 / 1時間 / 2時間 / OFF
7 操作音	ON / OFF
8 画面反転	ON / OFF
9 データ消去	マイエリア（取消し / 全消去）/ キャンセルエリア（取消し / 全消去）
10 設定初期化	取消し / 初期化

〈警報LED〉

本機では使用できません。

〈明るさ〉

EL 表示の明るさを「暗い」「ふつう」「明るい」の3段階で切替えることが可能です。

- 初期値は「ふつう」に設定されています。

〈リラックスチャイム〉

安全運転をしていただくために、休憩を促す機能です。
電源ON後、設定時間が経過するたびに「ピポパポーン　長時間運転しています　休憩しませんか？」の音声でお知らせします。

- 「30分」「1時間」「2時間」「OFF」の中から選択可能です。
- 初期値は「2時間」に設定されています。

〈操作音〉

ボタン操作時の確認音を「ON」か「OFF」に設定可能です。

- 「OFF」に設定するとボタン操作時の確認音が出ません。
- 初期値は「ON」に設定されています。

〈画面反転〉

EL 表示画面の上下を逆転させることが可能です。

- 「ON」に設定すると画面が逆転します。
- 初期値は「OFF」に設定されています。

〈データ消去〉

「マイエリア」「キャンセルエリア（インテリジェントキャンセル・マイキャンセル）」の登録データをすべて消去することが可能です。

- 消去したい「マイエリア」または「キャンセルエリア」選択後、「全消去」を選択すると選択エリアの全データが消去されます。
- いったん消去すると、元に戻せませんのでご注意ください。
- この操作による本機に登録されているオービス等のGPSデータが消去されることはありません。

〈設定初期化〉

「初期化」を選択・設定するとお買い上げ時の設定状態にリセットします。

使いかた／設定編

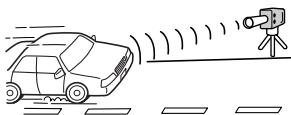
取締りのミニ知識

本機と、取締りの方法や種類をよくつかんで、上手にご使用ください。制限速度を守り、安全運転を心がけることが大切です。

スピード違反の取締り方法

大きく分けて3つの方法があります。

1．レーダー波を使って算出する方法（レーダー方式）

取締りレーダー波を対象の車に向けて発射し、その反射波の周波数変化（ドップラー効果）で速度を算出します。

※現在、スピード違反の取締りには、この方法が多く採用されています。この方法は、歴史も古く、種類、台数が多いことから、今後も取締りの主流であると思われます。

2．距離と時間で算出する方法（ループコイル式・LHシステム）

一定区間を通過するのにかかる時間から速度を算出します。
測定区間の始めと終わりに設置するセンサーには、赤外線や磁気スイッチなどが使われています。

※この方式は取締りレーダー波を発射しておりませんので、従来のレーダー受信機能では、検知できませんが、GPS測位機能により、警報することができます。

3．追走して測定する方法（追尾方式）

指針を固定できるスピードメーターを搭載している白バイやパトカーで、対象の車を追走して速度を測ります。

※本機は取締りレーダー波を発射しているものについては後方受信します。また、カーロケーターシステム搭載車の場合は、カーロケ帯受信機能により、警報することができます。

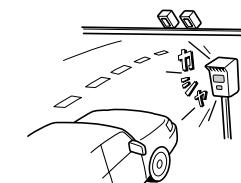
取締りレーダー波について

取締りレーダー波は、発射するときの角度や装置の種類によって性質が異なります。

定置式

人が測定装置を道路際に設置して行います。
取締りレーダー波は、直進性が強いため、発射角度が浅いほど、探知しやすくなります。

自動速度取締り機（オービスⅢ）

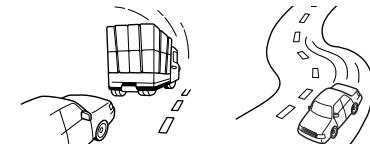
速度の測定と証拠写真の撮影を自動的に行います。

移動式

測定装置をパトカーに搭載して、移動しながら測定を行います。

その他

取締りレーダー波を受信しにくい場合

取締りレーダー波の発射方法や周囲の環境、条件などにより、取締りレーダー波を受信しにくいことがあります。

● 前に走行している車(とくに大型車)がある場合や、コーナー、坂道では、電波が遮断され、探知距離が短くなることがあります。スピードの出やすい下り坂では、とくにご注意ください。

〔前に走行中の車がある場合〕

〔コーナー〕

〔下り坂〕

● 対象の車が近くに来るまで、取締りレーダー波を発射しない狙い撃ち的な取締りができるステルス型のスピード測定装置があります。

電波式の自動ドアや、信号機の近くに設置されている車輌通過計測機などは、取締りレーダー波と同じ電波を使用しているため、反応するのは避けられません。『いつも鳴るから』と安心せずに注意してください。

仕 様

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

電源電圧 : DC 12V
(マイナスアース車専用)
消費電流 : 待機時:120mA以下
(UHF/VHF部 OFF時)
最大:310mA以下
受信方式 : [GPS部]
16チャンネル/パラレル受信方式
[レーダー部]
スイープオシレーター式ダブルスーパーヘテロダイン方式
表示部 : パッシブマトリックス駆動方式
フルカラー有機ELディスプレイ
受信周波数 : [GPS部] 1.6GHz帯
[レーダー部] Xバンド/Kバンド
[UHF部] 336〜470MHz帯
[VHF部] 154〜163MHz帯

動作温度範囲 : −20℃〜+85℃
(GPS部:−20℃〜+80℃)
(UHF/VHF部:−10℃〜+60℃)

[本体]
外形寸法 : 290(W)×82(H)×25(D)mm
(GPSアンテナ、突起部除く)
重量 : 396g

[リモコン]
外形寸法 : 34(W)×70(H)×16(D)mm
重量 : 19.4g(電池含む)

その他

故障かな？と思ったら

修理をご依頼になる前に、もう1度次のことをご確認ください。それでも異常や故障と思われるときは、お買い上げの販売店、または弊社営業所・サービス部にご相談ください。

症 状	チェック項目
電源が入らない	• 電源スイッチがONになっていますか。 • シガープラグコードがはずれていませんか。 • シガーライターソケットの内部が汚れて、接触不良を起こしていませんか。シガープラグを2、3回左右にひねりながら差し込み直してください。 • シガープラグ内部のヒューズが切れていないか確認してください。切れている場合は、同じ容量(1A)の新しいヒューズと交換してください。
エンジンを止めて、イグニッションキーを抜いても電源が切れない	• シガーライターソケットの電源が、エンジンの始動/停止と連動して入/切しない車があります。このような車では、エンジンを止めても、シガーライターソケットに電源が供給されますので、シガープラグの電源スイッチで電源を切ってください。
反応しない レーダー警報しない	• 電源が入っていましたか。 EL 表示を確認してください。 • 警報機能が正しく働きますか。テスト&ミュートボタンを押して確認してください。 • 取締りレーダー波が発射されていましたか。計測する瞬間だけ電波を発射するステルス型など、取締り準備中あるいは終了後などで、スピード測定装置から取締りレーダー波が発射されていないことがあります。(とくにオービスⅢではよくあります) • 取締りが「レーダー方式」で行われていましたか。 • マイキャンセル登録したエリアではありませんでしたか。 • インテリジェントキャンセルされていませんか。キャンセル中は EL で表示します。 • AACシステムがONで、時速30km以下のときは警報しません。 • 「マナーモード」になっていませんか。⏏アップボタンを押して解除してください。
GPS警報しない	• GPS測位していましたか。 • 新たに設置されたオービスなどのターゲットではありませんか。
取締りもしていないのに警報機能が働く	• 取締りレーダー波と同じ電波が他でも使用されています。それらの電波を受信すると警報機能が働くことがありますが、故障ではありませんので、ご了承ください。 ――取締りレーダー波と同じ電波を使用している主な機器―― • 電波式の自動ドア、防犯センサー/信号機の近くに設置されている車輌通過計測機/NTTのマイクロウェーブ通信回線の一部/気象用レーダー、航空レーダーの一部/他のレーダー探知機の一部 • まれに他の無線機の影響を受けることがあります。その場合は取り付け位置を変えてみてください。
警報の途中で警報音が小さくなる	• レーダー波の受信が約30秒以上続くと、警報音が小さくなります。
ひんぱんに無線警報する	• 放送局や無線中継局、携帯電話の基地局などが近くにある場合、強い電波の影響や周囲の状況により、受信状態になることがあります。また、取り付けた車やカーナビの画面、カーオーディオなどから強い電波が放射している場合があります。
取締り現場なのに350.1MHzを受信しない	• 「取締無線」を「ON」に設定していましたか。 • 取締り現場での連絡が無線方式で行われていましたか。連絡には350.1MHzの電波を使った無線方式の他に、有線方式の場合もあります。
Nシステム告知しない	• 「Nシステム」の設定は「ON」になっていましたか。 • GPS測位していましたか。 • 新設のNシステムなどで、未登録の場合は、告知されません。
誤警報がキャンセルされない	• 「Ｉキャンセル」の設定は「ON」になっていましたか。 • GPS測位していましたか。 • Hシステムやレーダー式オービスが近くにありませんでしたか。 • 取締りゾーン、またはマイ・エリア登録したエリアではありませんか。
リモコンで操作できない	• リモコンの電池が消耗していませんか。新しい電池と交換してください。 • リモコンの赤外線が遮られていませんか。 • 表示部の赤外線受光部に太陽光が直接入射していると、操作距離が短くなることがあります。
何も表示しない	• 「マナーモード」になっていませんか。⏏アップボタンを押して解除してください。

その他

アフターサービスについて

●**保証書(裏表紙参照)**
保証書は、必ず「販売店・お買い上げ年月日」をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。

●**保証期間**
お買い上げの日から1年間です。

●**対象部分**
機器本体(消耗部品を除く)

●**修理をご依頼されるとき**
「故障かな?と思ったら」で確認しても、なお異常があると思われるときは、使用車名(車種)、機種名(品番)、氏名、住所、電話番号、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。
※修理期間中における貸し出し用レーダー探知機は、ご用意できませんので、あらかじめご了承ください。

○保証期間中のとき
保証書裏面の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで、保証書とともに、機器本体をご持参ください。保証書の内容にしたがって修理いたします。

○保証期間が過ぎているとき
まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

●**GPSデータの更新について**
本機にはあらかじめオービスデータ・コンテンツデータが登録されています。
最新データへの更新をご要望される場合、ityクラブ(別冊「サービスご利用ガイド」☛ 4ページ)または、ity/データmuPass(別冊「サービスご利用ガイド」☛ 7ページ)をご覧ください。会員になると携帯電話やパソコンを利用してGPSデータを更新できるサービスが受けられます。
また、お預かり更新サービス(送料別・税込¥5,250)をご要望される場合、最寄りの弊社営業所・サービス部にご相談ください。

ユピテルご相談窓口一覧

お問い合わせの際は、製品の機種名をご確認のうえ、使用状況もいっしょにご相談ください。

取付、取扱方法に関するお問い合わせ

受付時間　10:00〜18:00　月曜日〜金曜日(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)

お客様ご相談センター　**TEL. (0564)45-5599**

取扱方法、修理依頼、販売店の紹介に関するお問い合わせ

受付時間　9:00〜17:30　月曜日〜金曜日(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)

地　区	名称・電話番号・所在地
北海道	札幌営業所・サービス部　TEL. (011)618-7071 〒060-0008 北海道札幌市中央区北8条西18丁目35-100 エアリービル1F
青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島	仙台営業所・サービス部　TEL. (022)284-2501 〒984-0015 宮城県仙台市若林区卸町4-8-6 第2喜和ビル1F
栃木・群馬・茨城・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨・新潟・静岡	東京営業所・サービス部　TEL. (03)3769-2525 〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33 芝浦新本ビル3F
岐阜・愛知・三重・富山・石川・長野・福井	名古屋営業所・サービス部　TEL. (052)769-1601 〒465-0092 愛知県名古屋市名東区社台3-181
滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山・徳島・香川・愛媛・高知	大阪営業所・サービス部　TEL. (06)6386-2555 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町53-10
鳥取・島根・岡山・広島・山口	広島営業所・サービス部　TEL. (082)230-1711 〒731-0135 広島県広島市安佐南区長束1丁目34-22-102
福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄	福岡営業所・サービス部　TEL. (092)552-5351 〒815-0032 福岡県福岡市南区塩原3-2-19

● 上記窓口の名称、電話番号、所在地は、都合により変更することがありますのでご了承ください。
● 電話をおかけになる際は、市外番号などをお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。

memo